

小泉癸巳男書簡 (鹿熊幸夫宛) [本誌『配給物絵日記』より]

## 収蔵資料紹介

# 小泉癸巳男『配給物絵日記』

## 第四冊

昭和館学芸部

### 小泉癸巳男の『配給物絵日記』について (四)

二回にわたり「昭和大東京百図絵」についてみてきたが、昭和館では本年度、共箱に収められた揃を購入したので、本号では(二)で報告した目録を修正しながら未掲載作品の図版を紹介することとしたい。

なお、未収集分として講談社本のデータを記したなかで、当館蔵のものとは異なる作品は番号に枝番を付けて区別した。併せて、校正の不手際から33番が欠番となってしまうことを訂正しお詫びしたい。

2-2 ①昭和大東京百図絵版画完制判第四年四月作二景 ②不忍池畔の春雨

③小泉癸巳男 ④泉 KOZUMI. KISIO.

47-2 ①昭和大東京百図絵版画完制判第七年十二月作三十七景 ②滝野川・

金剛寺(紅葉寺)下ノ音無川幽隧 ③小泉癸巳男 ④泉 KOZUMI. KISIO.

65-2 ①昭和大東京百図絵版画完制第十年二月作六十景 ②数寄屋橋畔

③小泉癸巳男 ④印Ⅱ「小泉癸巳男書之」

79-2 ①昭和大東京百図絵版画完制判十五年八月作七十一景 ②鈴ヶ森刑

場址(品川区) ③小泉癸巳男 ④泉 KOZUMI. KISIO.

94-2 ①昭和大東京百図絵版画第十二年第八十六景制作 ②大森・海苔乾し

③小泉癸巳男 ④(印)Ⅱ「泉」 KOZUMI. KISIO. 1937

100-2 ①昭和大東京百図絵版画第十二年五月第九十二景制作 ②小石川・護

国寺境内 ③小泉癸巳男 ④(印)Ⅱ「泉」 KOZUMI. KISIO. 1937

103-2 ①昭和大東京百図絵版画完制判第十二年八月作九十五景 ②王子・名

主之瀧 ③小泉癸巳男 ④(印)Ⅱ「泉」 印Ⅱ「小泉癸巳男書之」1937

105-2 ①昭和東京百図絵版画完制判十二年九月作九十七景 ②江戸川区・葛西・堀江町 ③小泉癸巳男 ④(印)「泉」 ⑤「小泉癸巳男畫之」  
1937

106-2 ①昭和東京百図絵版画完制判十二年十月作九十八景 ②築地・魚がし市場 ③小泉癸巳男 ④(印)「泉」 KOIZUMI. KSIO. 1937

111 (自序)

私の昭和東京百図絵版画は彫板も摺版ともに自分独りの手で作る創作版画であります。

昔廣重が世界的有名なる江戸百景を作ったのはもう百余年前のことでありましてそれより星移り物換り江戸は東京都改まり風物自然

異なつて来ましたので、私は僭越ながら昭和の廣重を氣取つて一生涯の仕事として昭和東京風景版画百景を作る偉業の夢を思ひ立つたのが、昭和五年の秋であります。途中いづくか經濟的に陳没しそうになつても兎も角初版から十年の間黙々として精進して遂に其の完成を見ましたことは私の版画道に對する愛と努力の結晶であります。

私の版画には原画は無く刀を筆に代へた版と版の綜合で摺り上がったものであります。だから出来上に同一でないものもある故に一枚づゝ鉛筆で署名して居ります。日本が版画國などとは昔の夢に過ぎない現在は茨の園であります。版藝術の花園の再現

112 (推薦文)

を祈り私のこの小作東京風景版画がその前奏曲となり又大東京の紹介ともなれば誠に幸甚の至りと思ひます。

皇紀二千六百年秋

小泉癸巳男記

小泉癸巳男君が昭和東京風景版画

百図の頒布を思ひ立つてから數年を閲したがこれが生活の資になつたとに云ふるのかあまり強健とも見えない其体軀を以てしてよくも此大業を完成したものである

其処には無論出来不出来もある構図のしつくりしないのや遠近の狂つて居るのや點景人物に働きの足りないのや種々の避難を被る可きものはあるけれども其出来のいゝものになると昭和の東京を後代に傳へ得ること彼幕

末を廣重が明治を清親が傳へて居るのに均しいものがある東京の街景は刻々に其外容を更めつゝあるだから小泉君の版画に取扱はれて居るものも暫くにして或は消失し或は変貌していつしか回顧の料となるにておるであらう

首都東京に関心をもつ人々に對して

此東京風景版画百図を薦める

昭和十三年六月

石井柏亭識

113 (箱書き)

皇紀二千六百年 完成

昭和大東京百圖繪版画集

作者 小泉癸巳男(印) 〓「癸巳男印」

以上、館藏品と講談社本より全点のデータを記してきたが、館蔵のものですでに収集しているものと一括揃いで入手した作品とでは外題や落款印章が異なるもの多く見られる。混乱を避けるため一作品一点に限って記載したが、次に外題を中心に作品を見ていくこととしたい。

外題は大別すると、

一、「昭和東京風景版画百図絵頒布画」

二、「昭和大東京百圖繪版画」

三、「昭和大東京百図絵版画完制判」

四、外題のないもの。

の四種類となる。前述のように、昭和三年の第九回帝展で入選した「永代と清洲橋」を第一景とし、数点の完成を見るごとに頒布会を行い、昭和十二年の「兜町・取引所街」を以て完結する。その後、意に添わない作品は「改新版」「新版」と差し替え、皇紀二千六百年(昭和十五年・一九四〇)に序文と目録を付して木箱に収めて再度頒布された。

数点ずつ頒布された作品では「頒布画」、一括頒布の際は「完制判」と改められたものと考えるのが妥当であろうが、箱入りのものを子細に

みていくと必ずしもそうとはいいきれない。全百点中、「完制判」とするものが八九点と多数を占めるが、中に「頒布画」六点、「百圖繪版画」四点が含まれている。さらに、講談社本と比べてみると館藏品が濃淡の違いこそあれ全て代赭色で摺られているのに対し、同一の版木を用いながら墨摺であったり、摺刷された位置が左右異なったものもある。

小泉が自序で「出来上がりに同一でないものもある」という通り、一点ごとに作者の意志により作品の出来上がりが違うというのは、専門家による分担で一枚の版下絵から寸分違わぬ作品を制作する伝統版画とは異なり、作画から彫り、摺りまでを作者自身が行う創作版画の魅力ともいえる。中でも興味深いのは、「一生涯の仕事」と自負し、より完成度の高い作品を残そうとした姿勢が、完成判を制作し終えた後までも続いたということである。講談社本に第二十景の改版として紹介されている「勝鬨橋」は、館藏品では「築地・かちどき渡し」のままで含まれていない。勝鬨の渡しは明治三十八年(一八〇五)、日露戦争の旅順陥落を祝つて築地・月島間に設けられた渡船場である。その後、通行量の増加により架橋が計画され、昭和八年の着工から七年の月日を要して十五年六月に完成した。船舶も多く通行することから、中央部分が跳ね上がるというユニークな構造になっており、小泉も作画意欲が刺激されたのであろうか、完結後の改版制作となった。「勝鬨橋」には制作年月が記されていないが、発行は十五年秋以降と思われる。このような改版の事例がこの一点だけなのか定かでないが、今後も改版を調査することにより「昭和大東京百図」の全容が徐々に明らかとなることであろう。

## 『配給物絵日記』に添付された書簡について

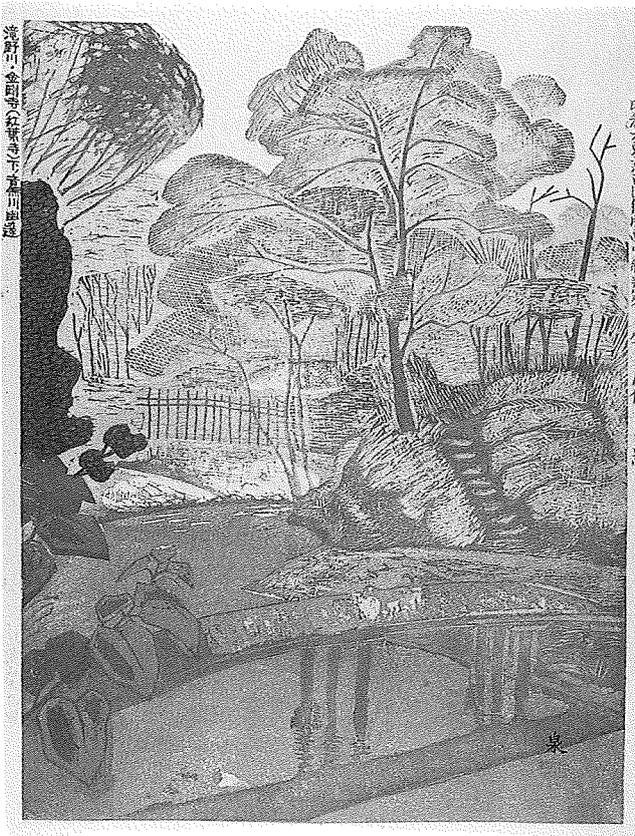
『配給物絵日記 四』には、巻末に書簡一通（便箋六枚）と葉書二葉が添付されているのは初めに記した通りである。その詳細については、翻刻を参照されたい。全て大阪府下河内郡藤井寺町春日丘（現、藤井寺市）の鹿熊幸吉氏に宛てたもので、小泉の住所は疎開先の埼玉県比企郡南吉見村（現、吉見町）の伊田勘三郎方となっている。昭和二十年の春頃から体調を崩した小泉は、池之端七軒町に家を残したまま、妻チエ子夫人の妹の婚家であった吉見村に療養を兼ね疎開した。七月の葉書に「十日余日になります故」とあることから、疎開した時期は終戦に程近い六月末から七月中のことと思われる。鹿熊幸吉については詳らかでないが、日記を渡し開版の判断を仰いでいることから版元であったのだろう。体の不調と時節もあって版画の頒布会を行うことが出来ず、文面より家計も逼迫していた様子が窺われる。そのような状況にあっても、創作意欲は失われることなく、「富士三十六景」の完結を目指していた。

しかし、十二月二十日の葉書ではすでに死期を察したのであるのか、絵日記の散逸を恐れ全てを鹿熊に託すこととなった。小泉は十二月七日、享年五十三で没している。同シリーズの取材中に御殿場で病を得た小泉は、遂に完結すること叶わず十三景を残し未完に終わった。書簡を貼り、日付を記したのは鹿熊であろう。当時の郵便事情で、埼玉から藤井寺まで何日を要したのか、鹿熊の元に絵日記が届いたのは小泉の没後となっ  
てしまったようである。

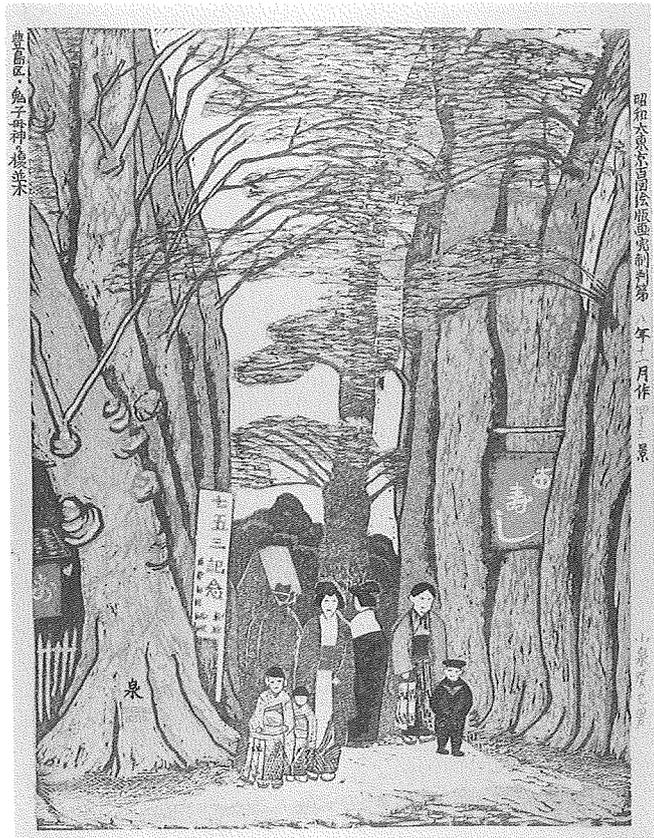
（昭和館学芸部長 杉本隆一）



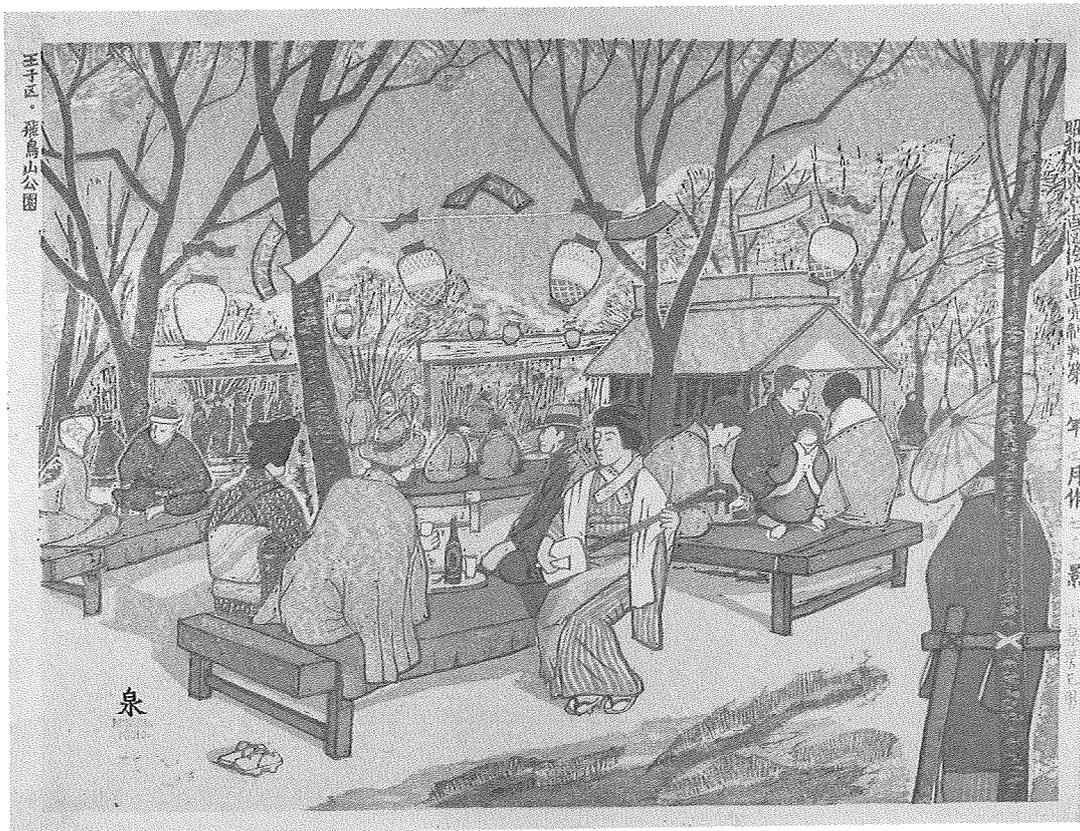
2-2 昭和大東京百図絵版画完制判第四年四月作二景  
不忍池畔の春雨



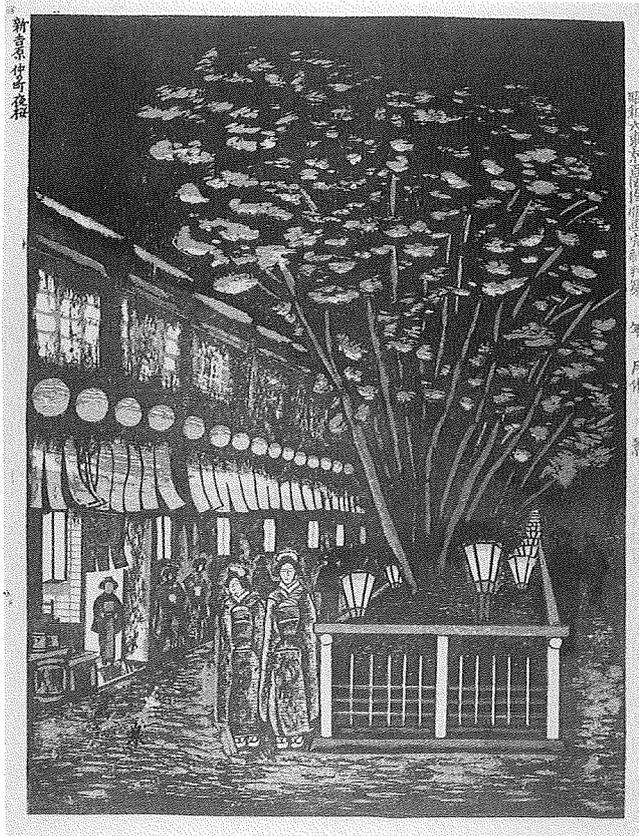
41 昭和大東京百図絵版画完制判第七年十二月作三十七景  
滝野川・金剛寺（紅葉寺）下ノ音無川幽隧



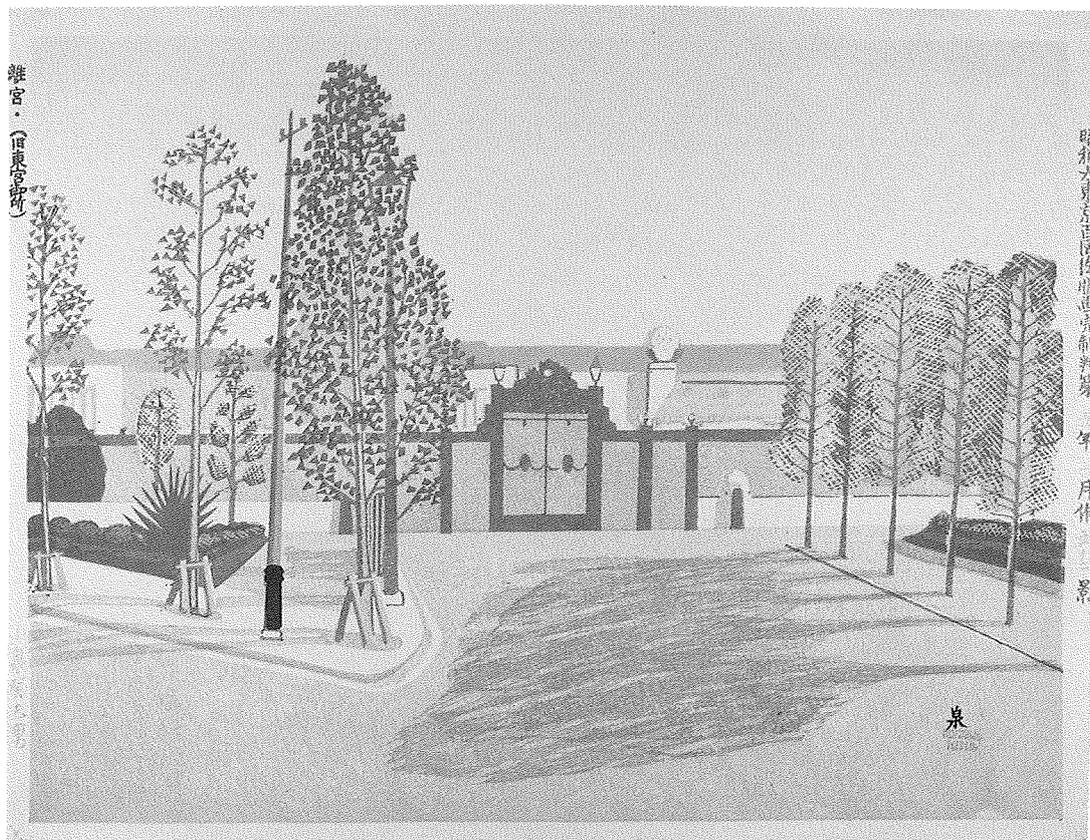
47-2 昭和大東京百図絵版画完制判第八年十一月作四十三景  
豊島区・鬼子母神の榎並木



53 昭和大東京百図絵版画完制判第九年四月作四十九景 王子区・飛鳥山公園



54 昭和大東京百図絵版画完制判第九年四月作五十景  
新吉原仲の町夜桜



57 昭和大東京百図絵版画完制判第九年六月作五十二景 離宮・(旧東宮御所)



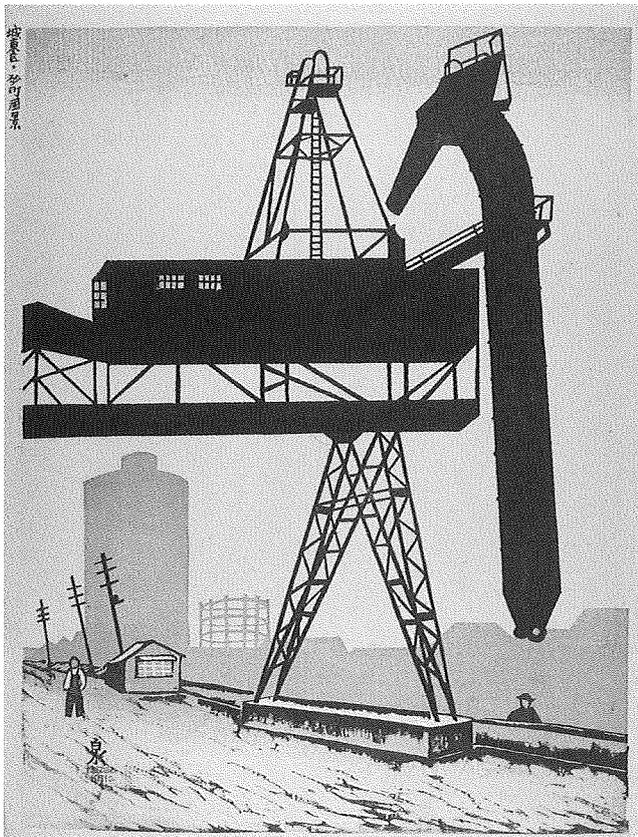
55 昭和新東京風景版画百図繪會九年第五一景五月制作 五月の植物園



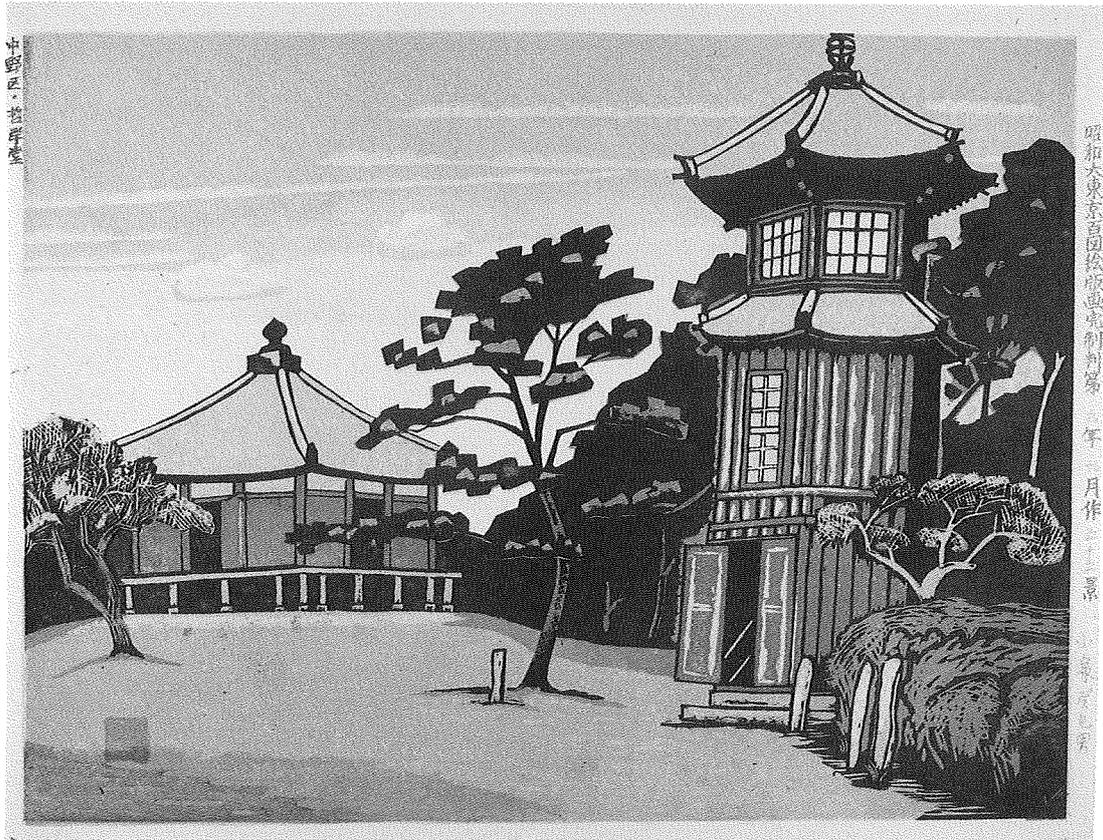
56 昭和大東京百図絵版画完制判十五年十月作五十一景 植物園の庭



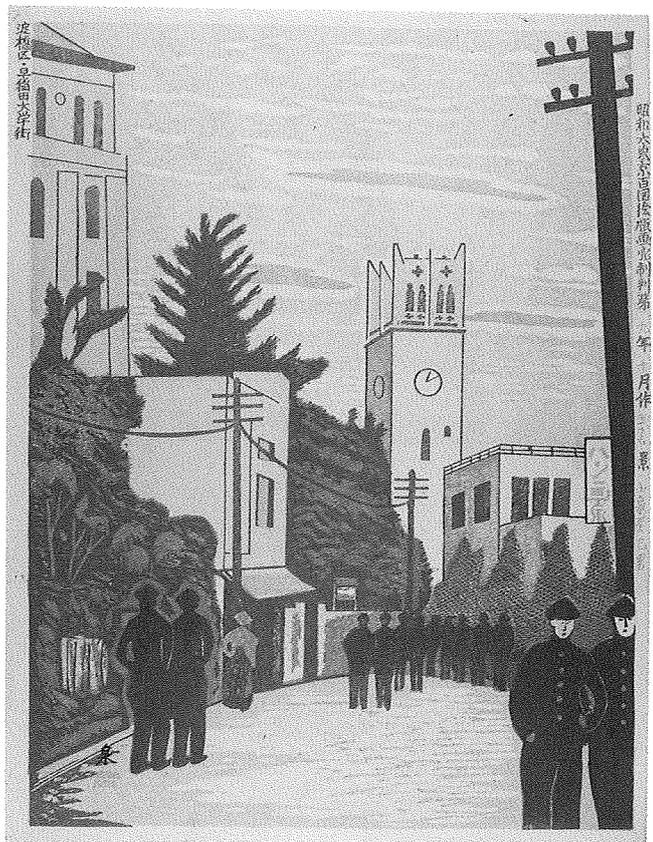
58 昭和大東京百図絵版画完制判第九年六月作五十三景 葛飾区・堀切の花菖蒲



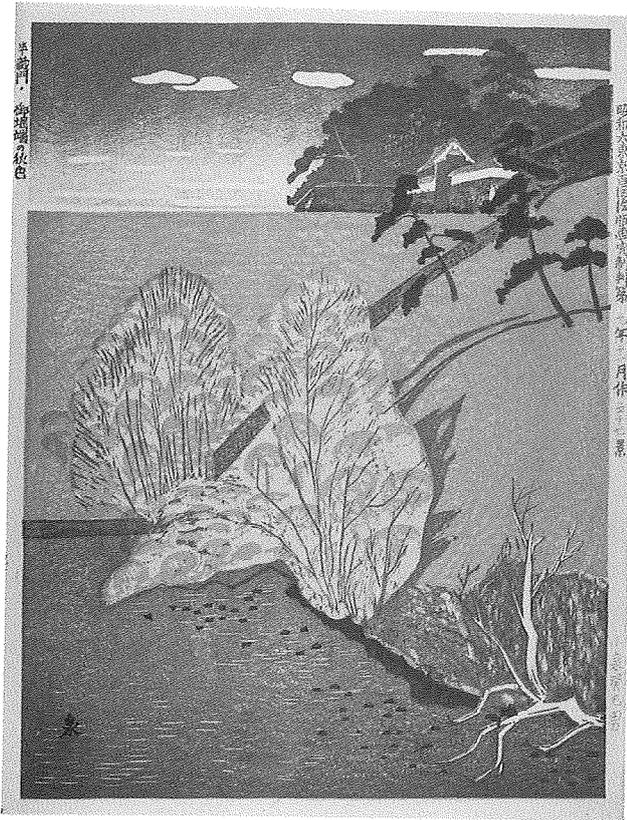
59 城東区・砂町風景



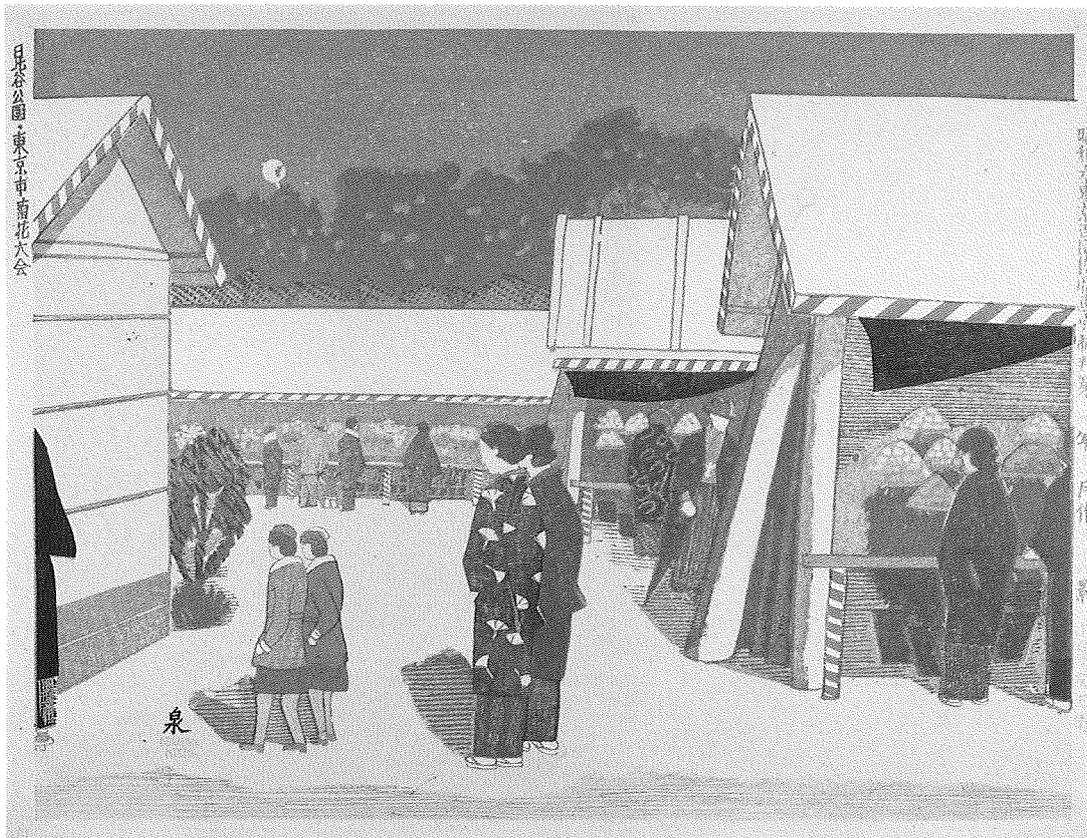
60 昭和大東京百図絵版画完制判第九年七月作五十五景 中野区・哲学堂



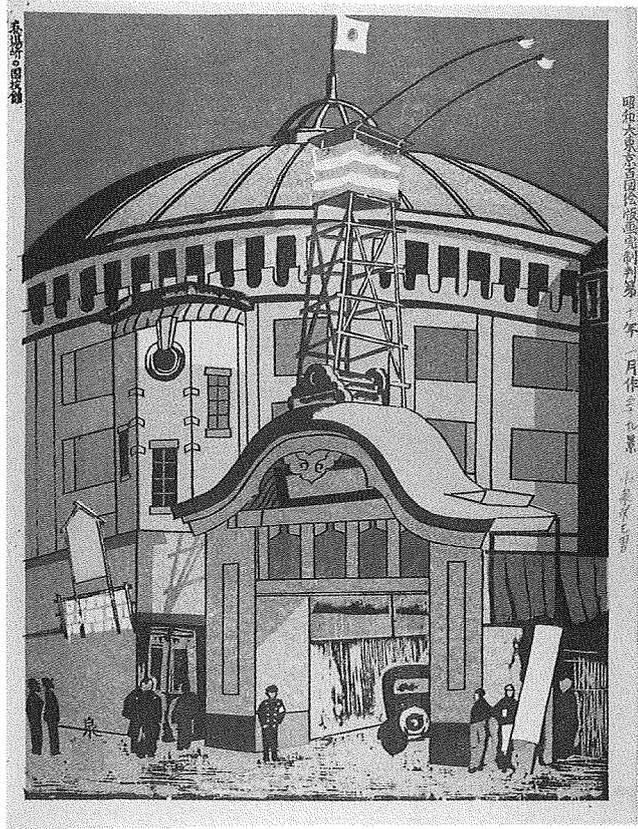
61 昭和大東京百図絵版画完制判第九年十月作五十六景  
淀橋区・早稲田大学街



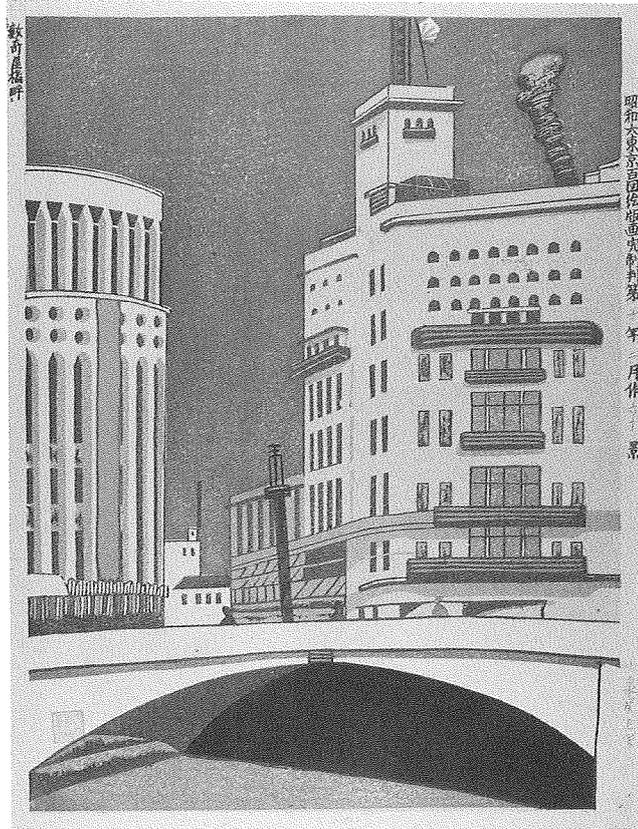
62 昭和大東京百図絵版画完制判第九年十一月作五十七景  
半蔵門・御壕端の秋色



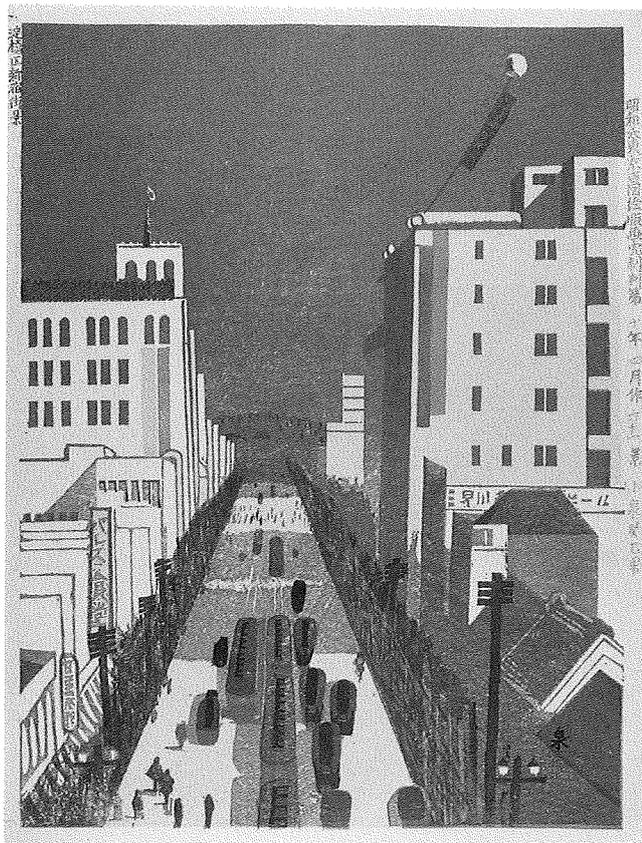
63 昭和大東京百図絵版画完制判第九年十一月作五十八景 日比谷公園・東京市菊花大会



64 昭和大東京百図絵版画完制判第十年一月作五十九景  
春場所の国技館



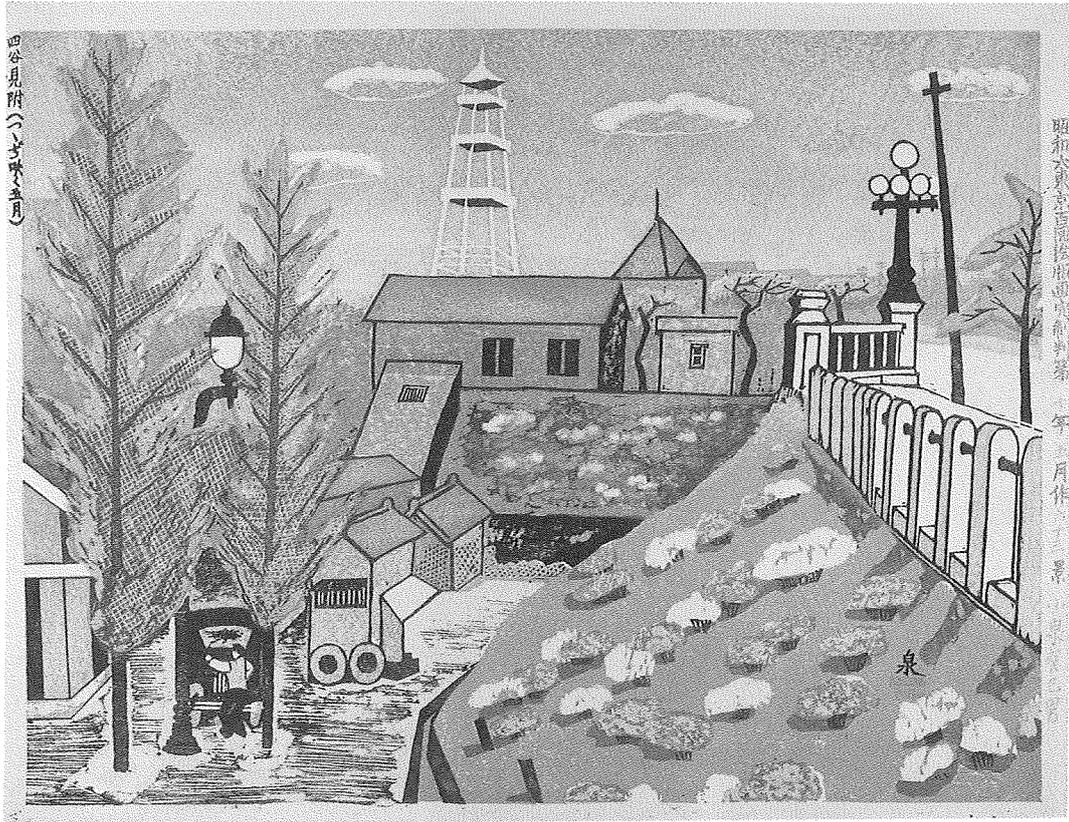
65-2 昭和大東京百図絵版画完制判第十年二月作六十景 数奇屋橋畔



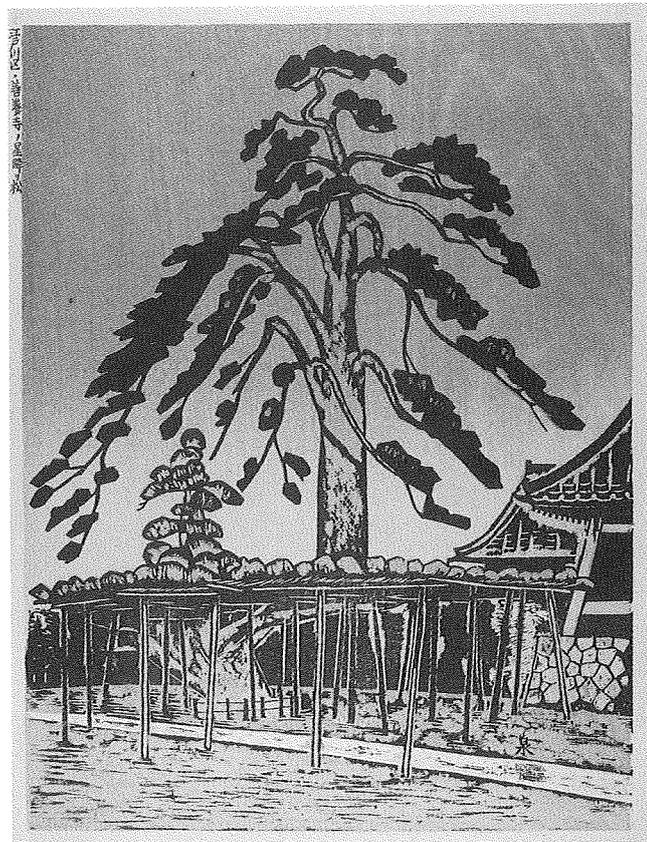
66 昭和大東京百図絵版画完制判第十年四月作六十一景  
淀橋区新宿街景



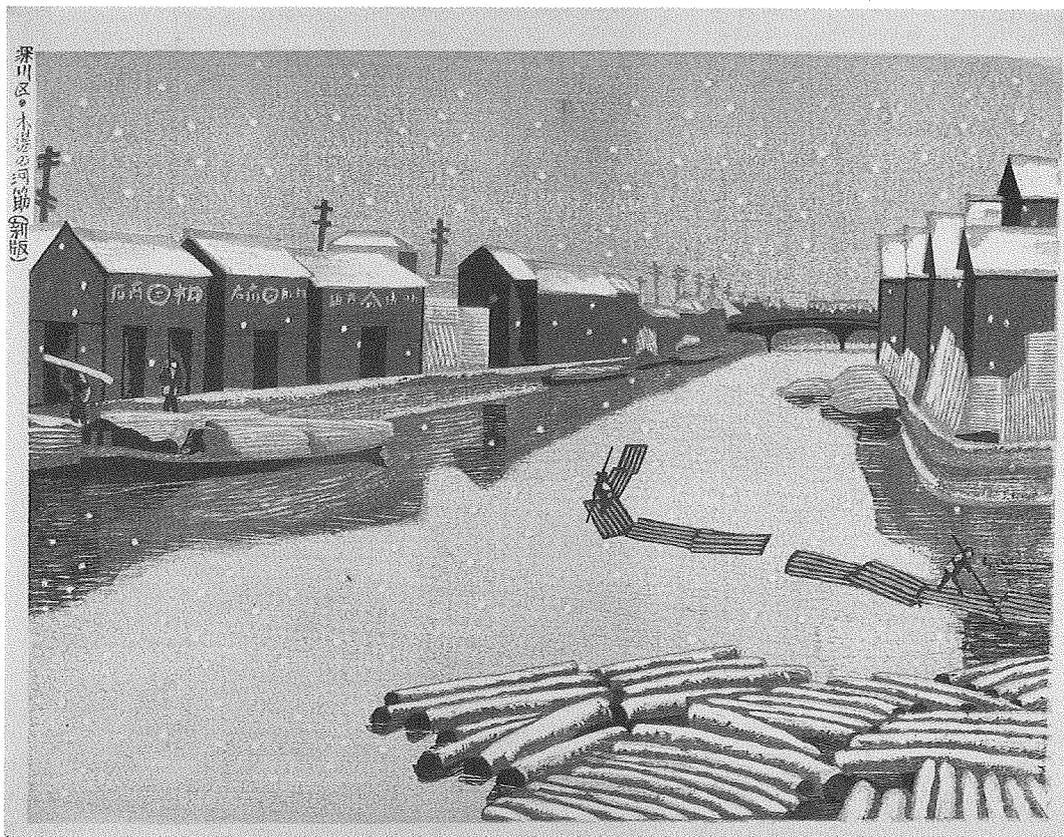
67 昭和大東京百図絵版画完制判第十年五月作六十二景 麻布区・有栖川宮記念公園



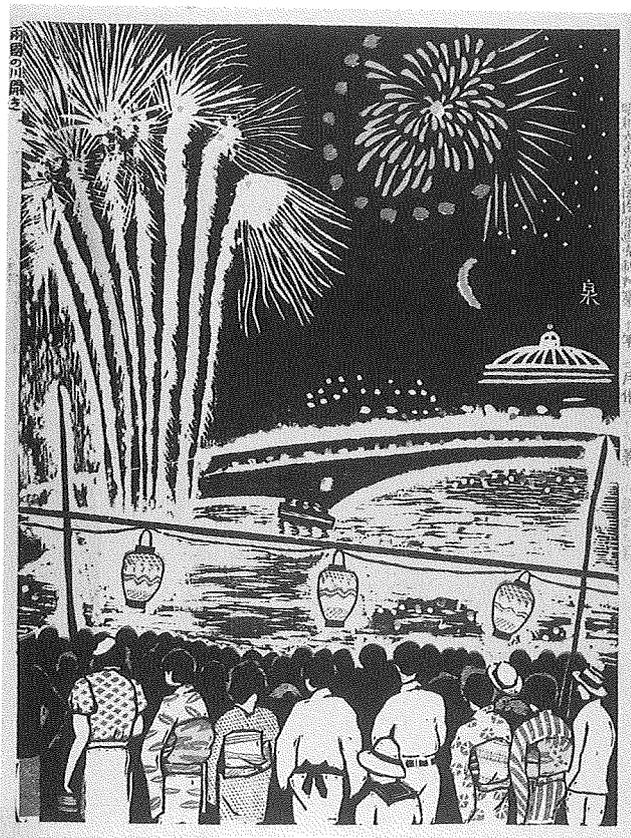
68 昭和大東京百図絵版画完制判第十年五月作六十三景 四谷見附 (つち咲く五月)



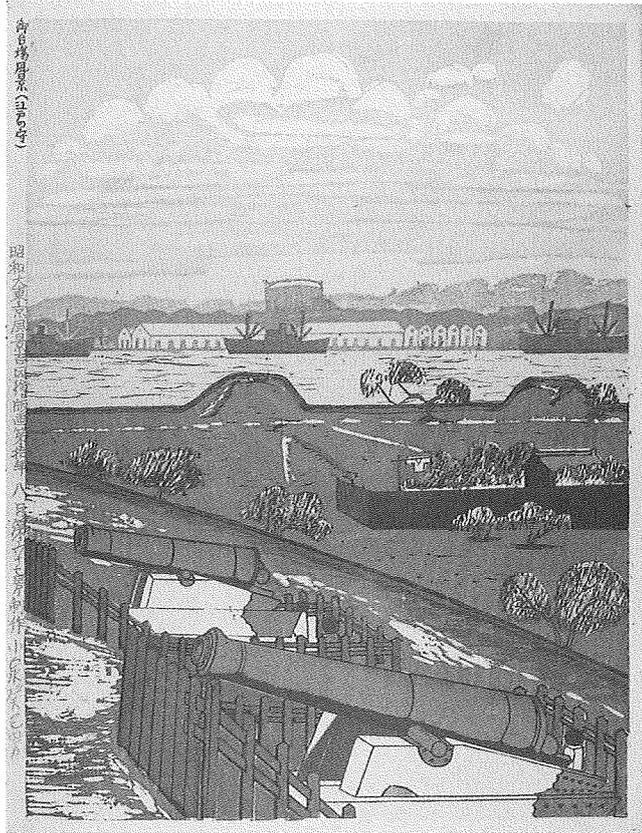
69 江戸川区・善養寺ノ星降り松



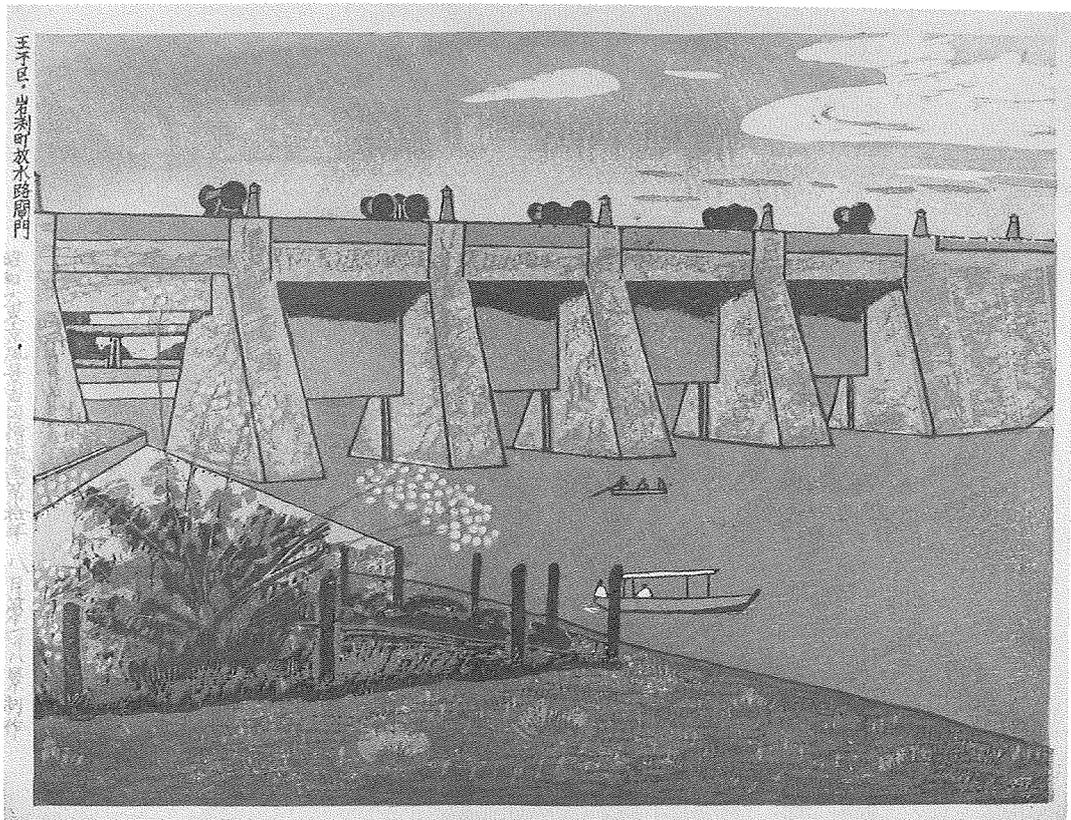
71 深川区・木場の河筋（新版）



72 昭和大東京百図絵版画完制判第十年七月作六十六景  
兩國の川開き



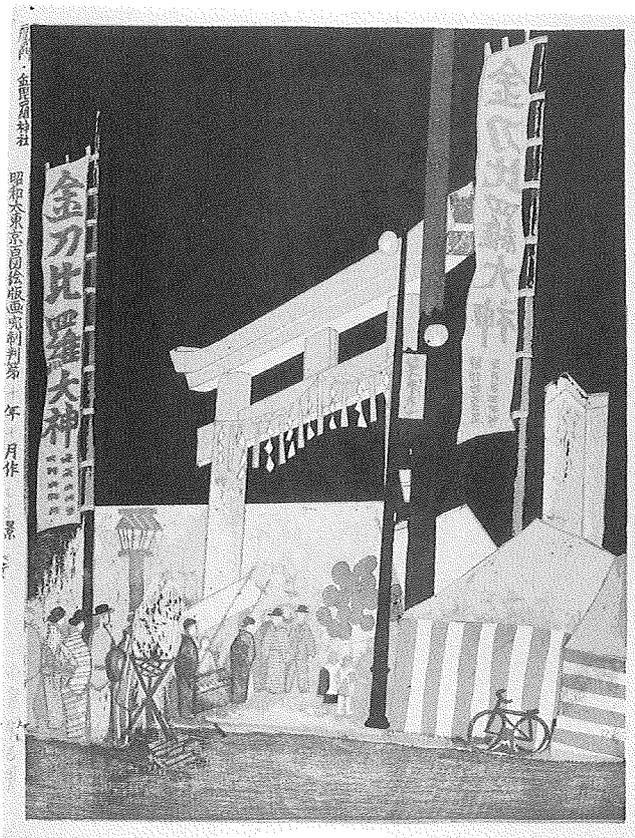
73 昭和大東京百図繪版画完制判第十年八月作六十七景  
御台場風景（江戸の守）



74 昭和大東京風景百図繪版画第拾年八月第六十八景制作 王子区・岩淵町放水路閘門



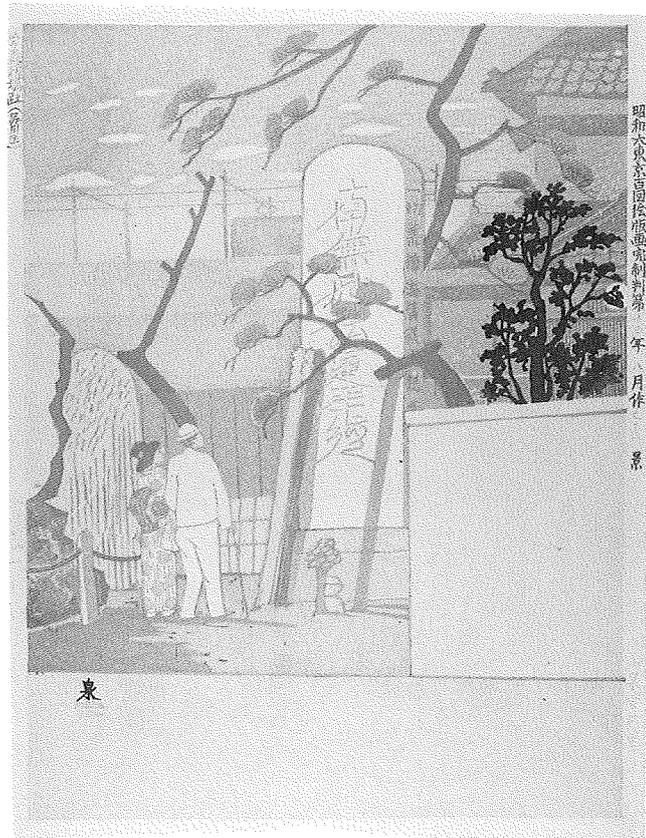
76 昭和大東京百図絵版画完制判第十四年三月作六十九景 目黒不動堂・雪景 改版の画



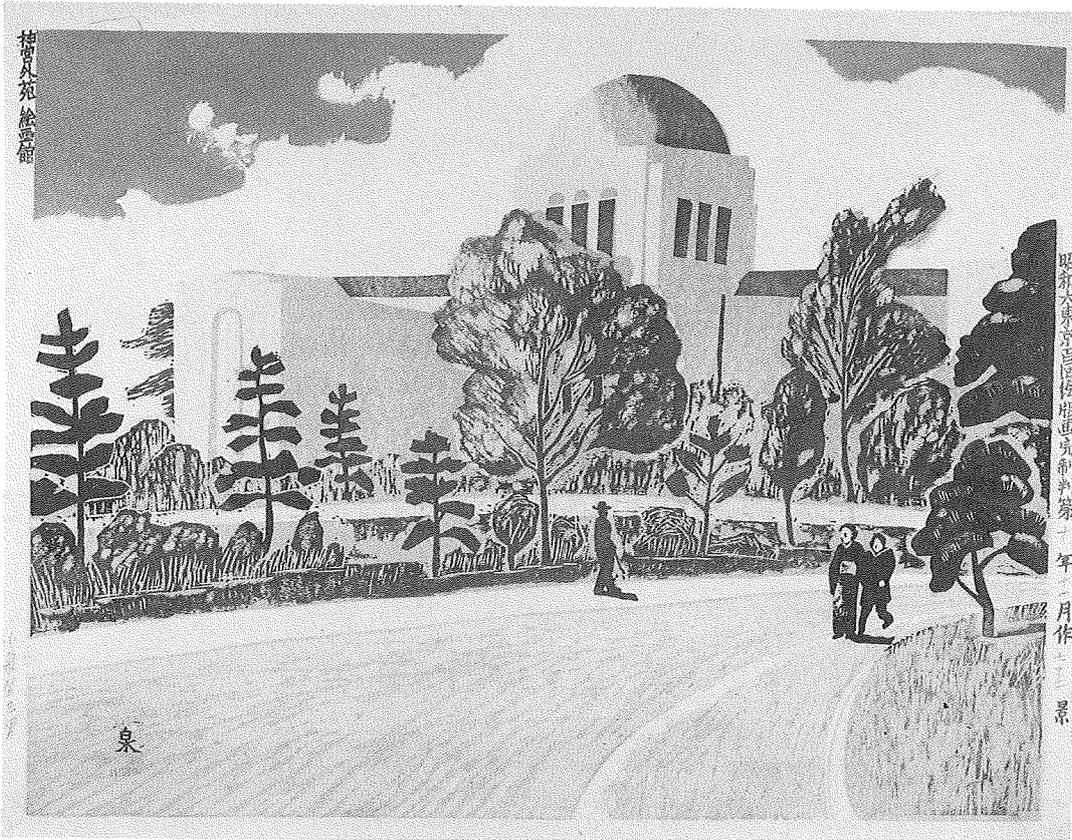
77 昭和大東京百図絵版画完制判第十年十月作七十景 虎の門・金毘羅神社



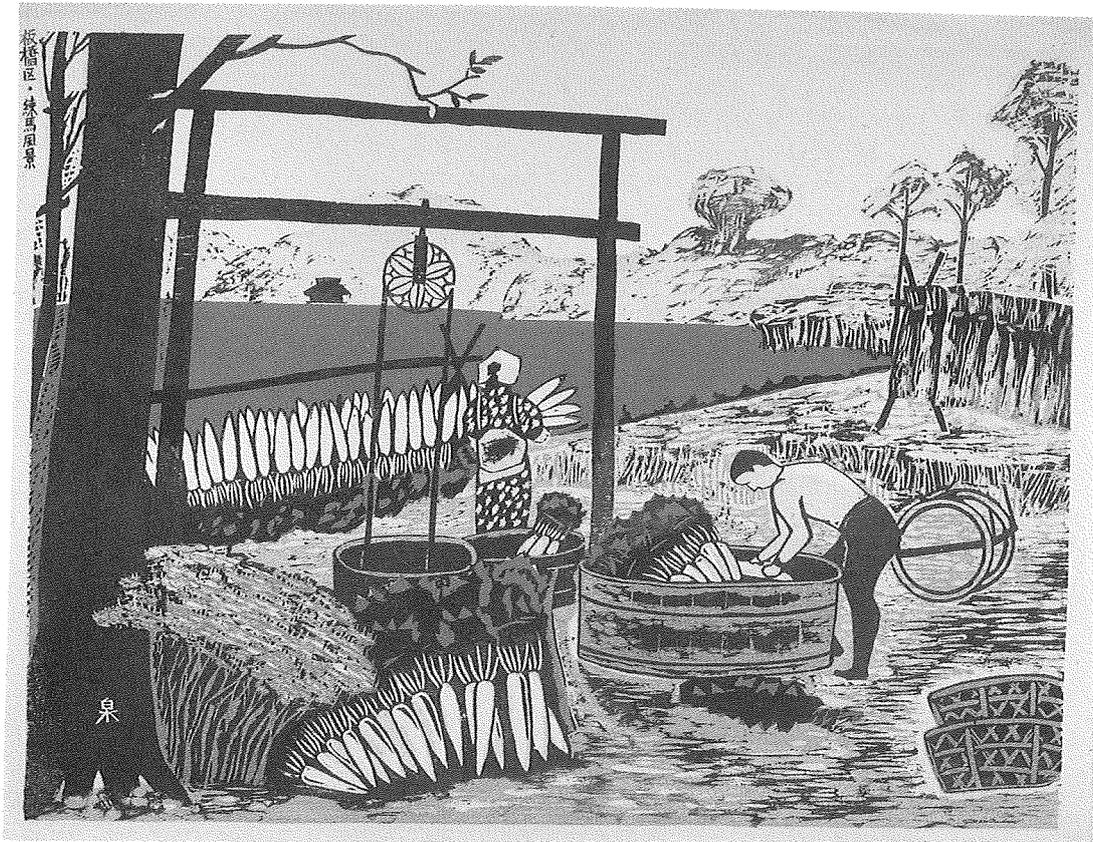
78 昭和東京風景百図繪版画第拾年十月第七十一景制作 品川区・鈴ヶ森刑場跡



79-2 昭和東京百景繪版画完制判十五年八月作七十一景 鈴ヶ森刑場跡 (品川区)



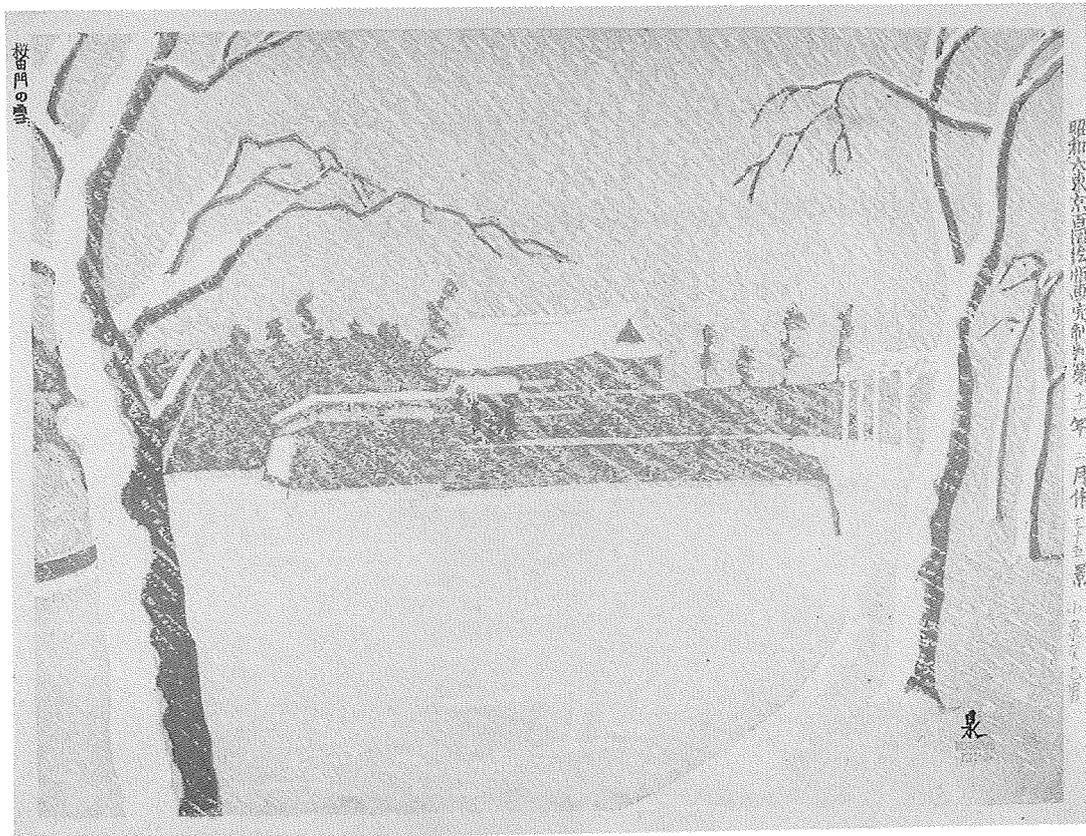
80 昭和大東京百図絵版画完制判第十年十一月作七十二景 神宮外苑 絵画館



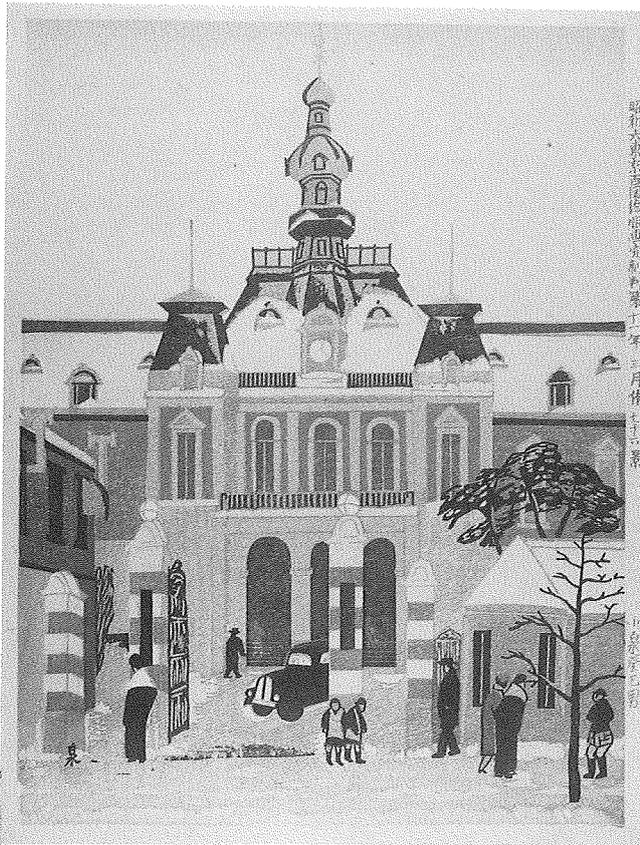
81 板橋区・練馬風景



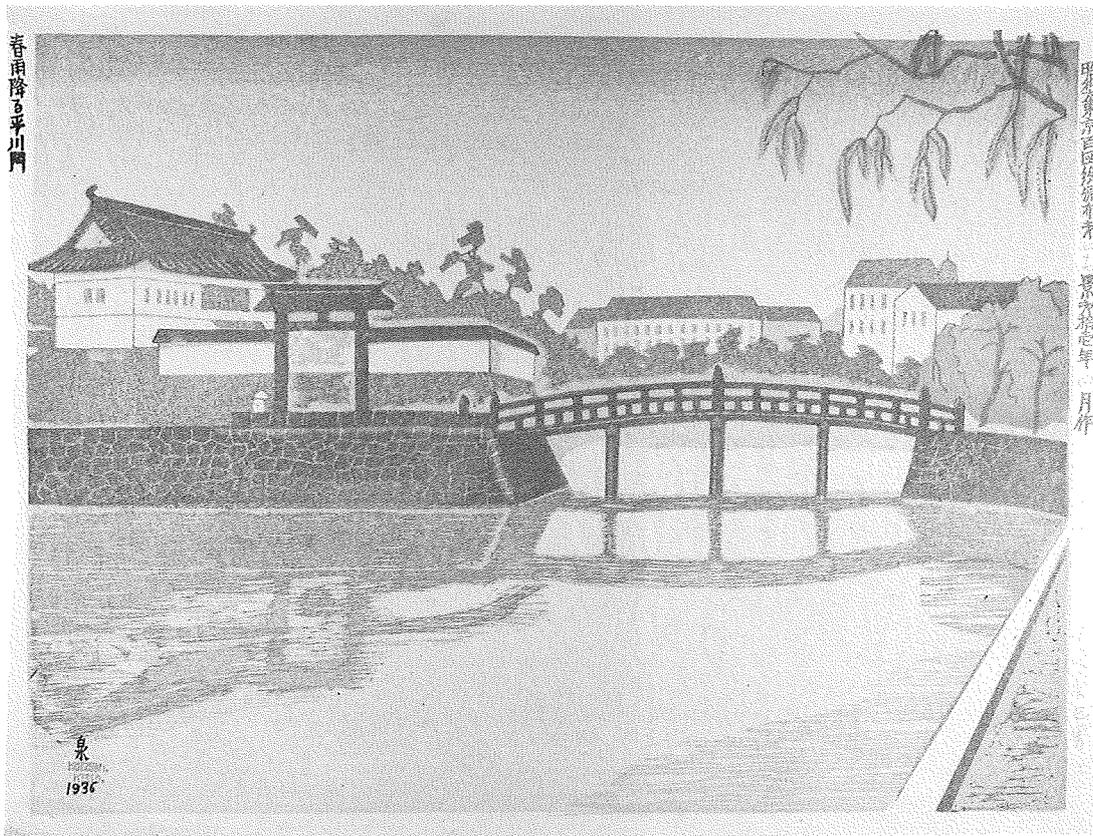
82 昭和東京百図絵版画完制判第十一年十二月作七十四景 深川八幡・羽子板市



83 昭和東京百図絵版画完制判第十一年二月作七十五景 桜田門の雪



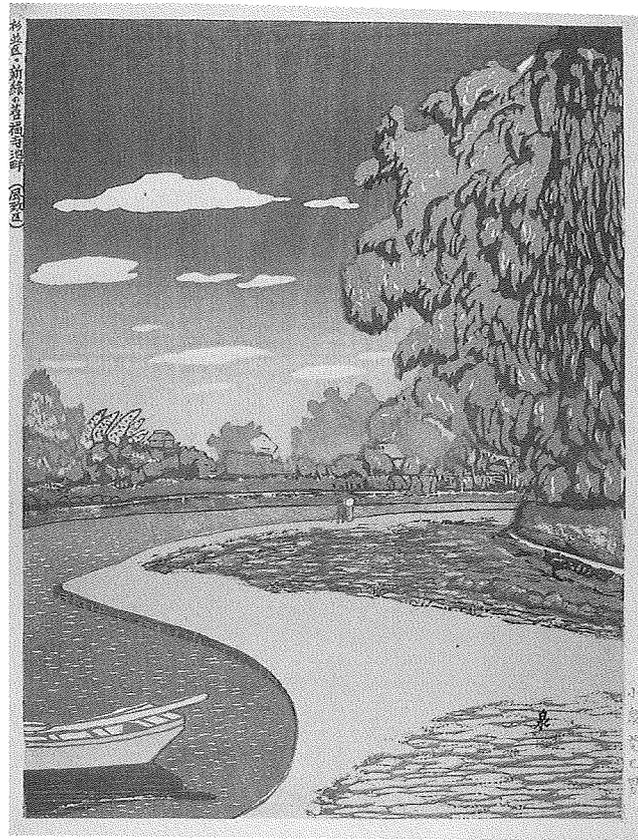
84 昭和大東京百図絵版画完制判第十一年三月作七十六景



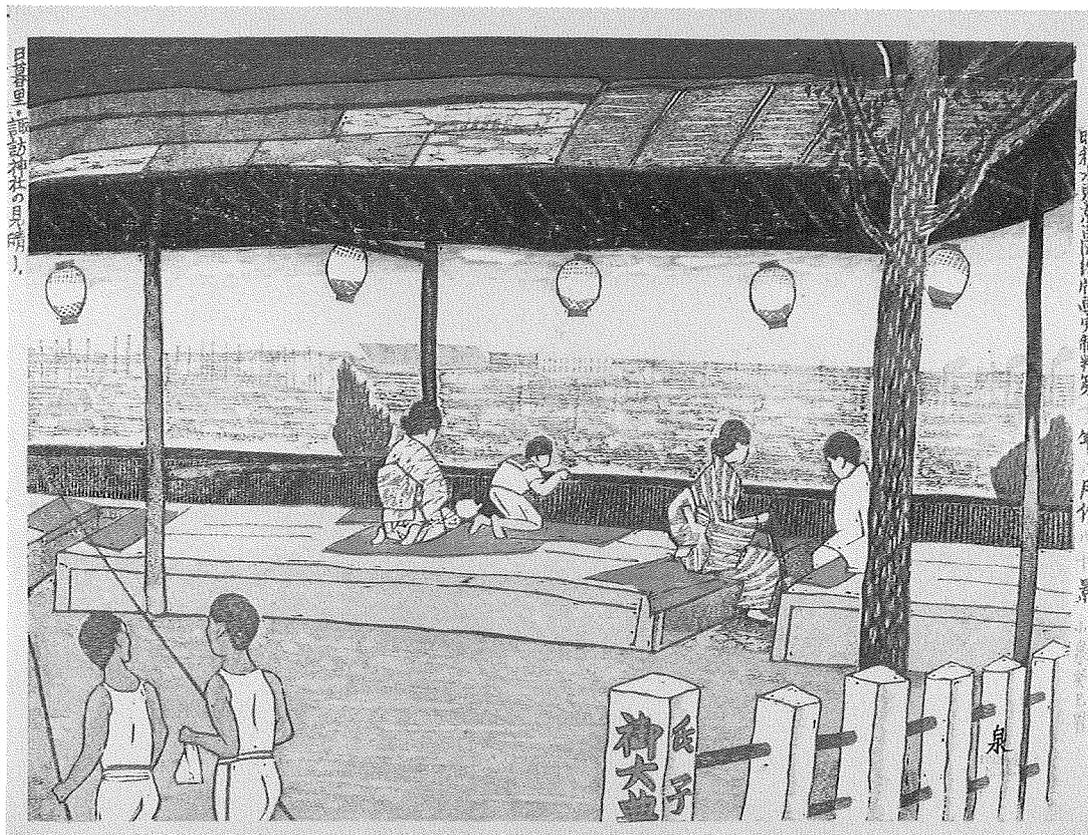
85 昭和大東京百図絵版画第七十七景第拾壹年四月作 春雨降る平川門



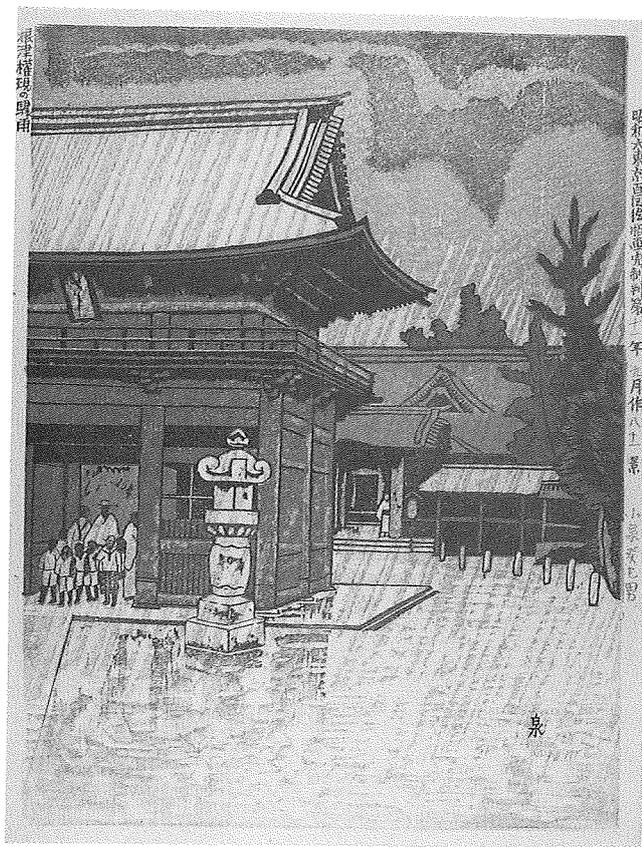
86 昭和大東京百図絵版画完制判第十一年五月作七十八景  
下谷・谷中天王寺之塔



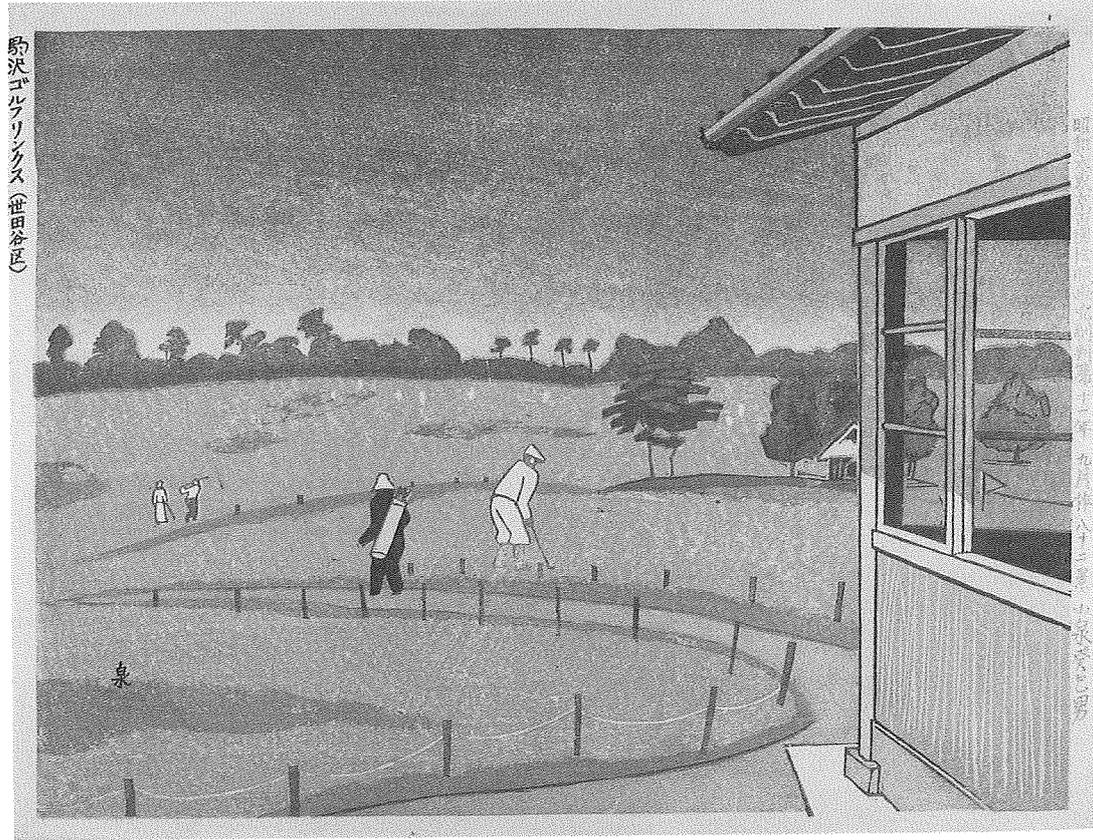
87 杉並区・新緑の善福寺池（風致区）



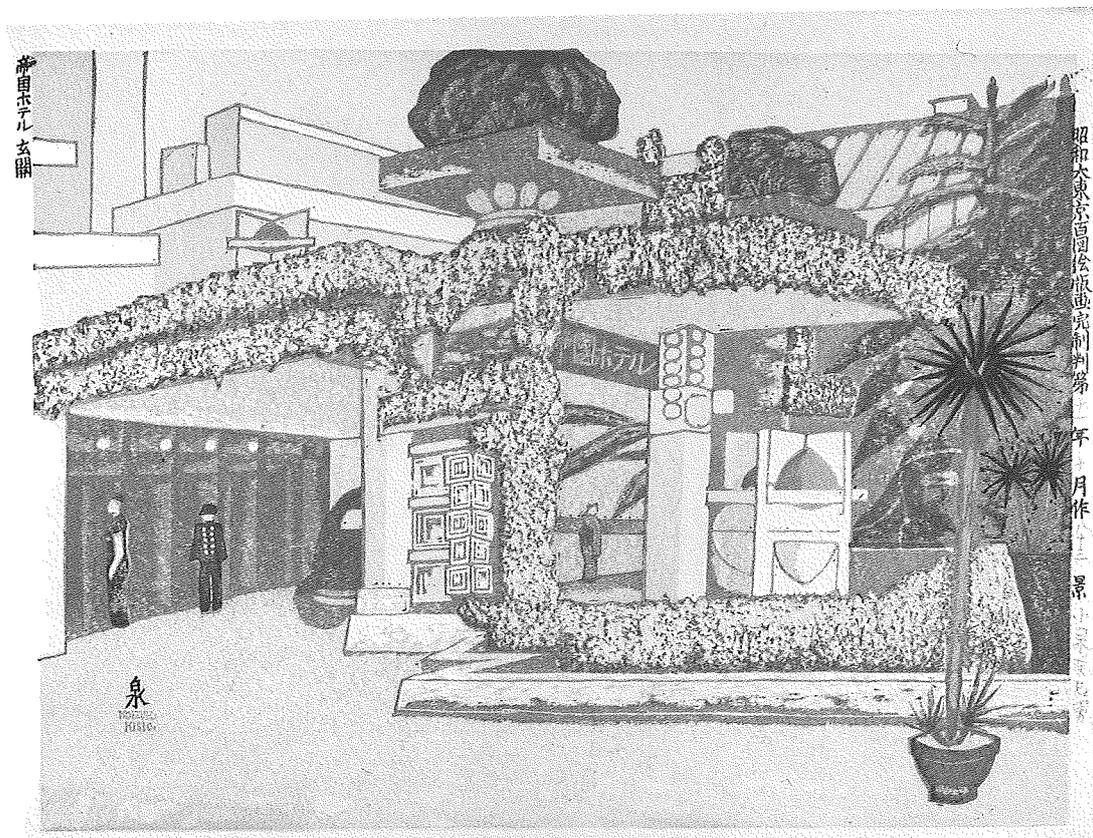
88 昭和大東京百図絵版画完制判第十一年八月作八十景 日暮里・諏訪神社の見晴し



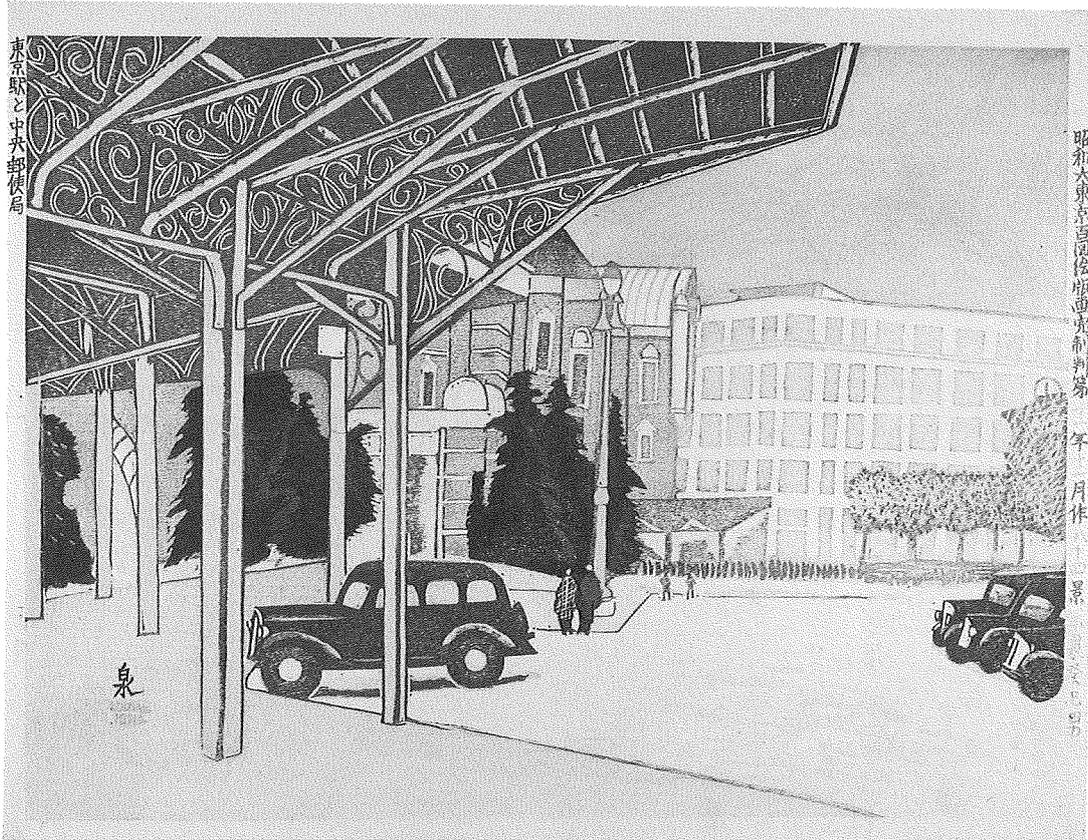
89 昭和大東京百図絵版画完制判第十一年九月作八十一景 根津権現の驟雨



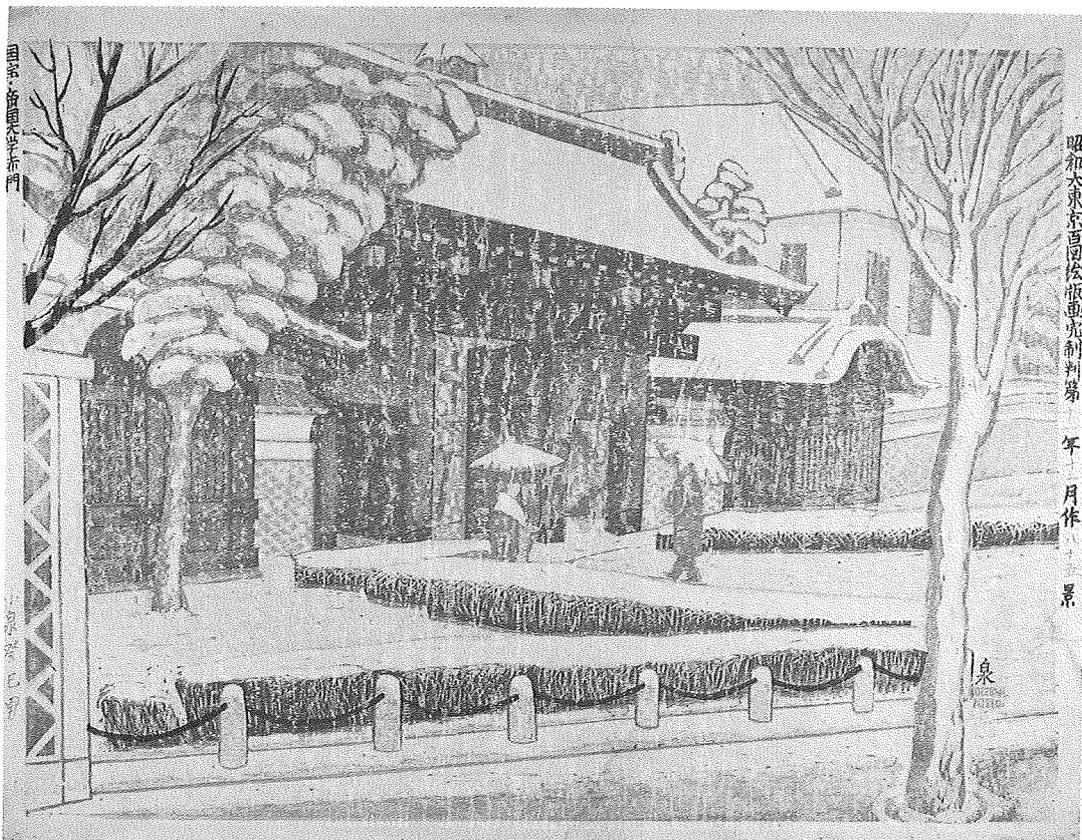
90 昭和大東京百図絵版画完制判第十一年九月作八十二景 駒沢ゴルフリンクス (世田谷区)



91 昭和大東京百図絵版画完制判第十一年十月作八十三景 帝国ホテル玄関



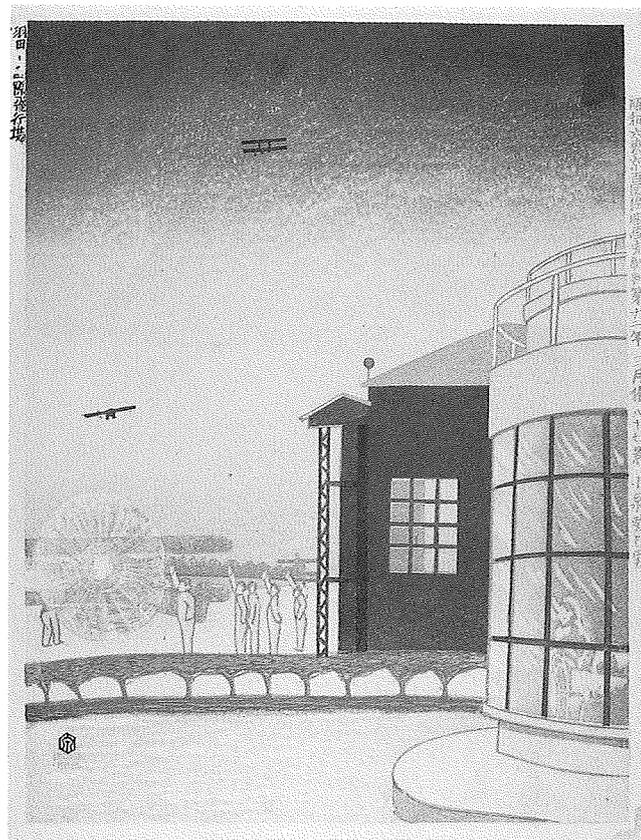
92 昭和大東京百図絵版画完制判第十一年十一月作八十四景 東京駅と中央郵便局



93 昭和大東京百図絵版画完制判第十一年十二月作八十五景 国宝・帝国大学赤門



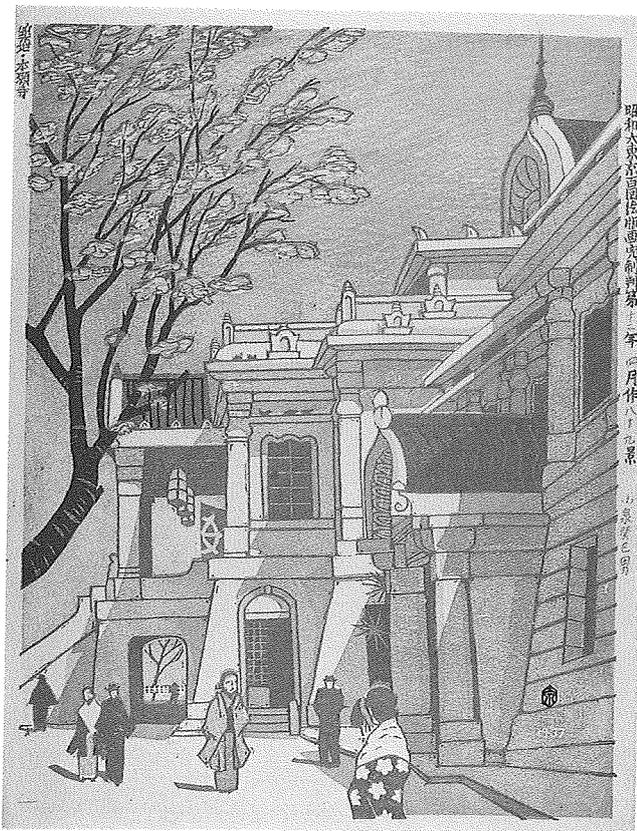
94-2 昭和東京百景圖絵版画第十二卷二月第八十六景制作 大森・海苔乾し



95 昭和東京百景圖絵版画第十二卷三月八十七景制作 羽田・國際飛行場



96 昭和大東京百図絵版画完制判第十二年三月作八十八景  
春の地下鉄



97 昭和大東京百図絵版画完制判第十二年四月作八十九景  
築地・本願寺

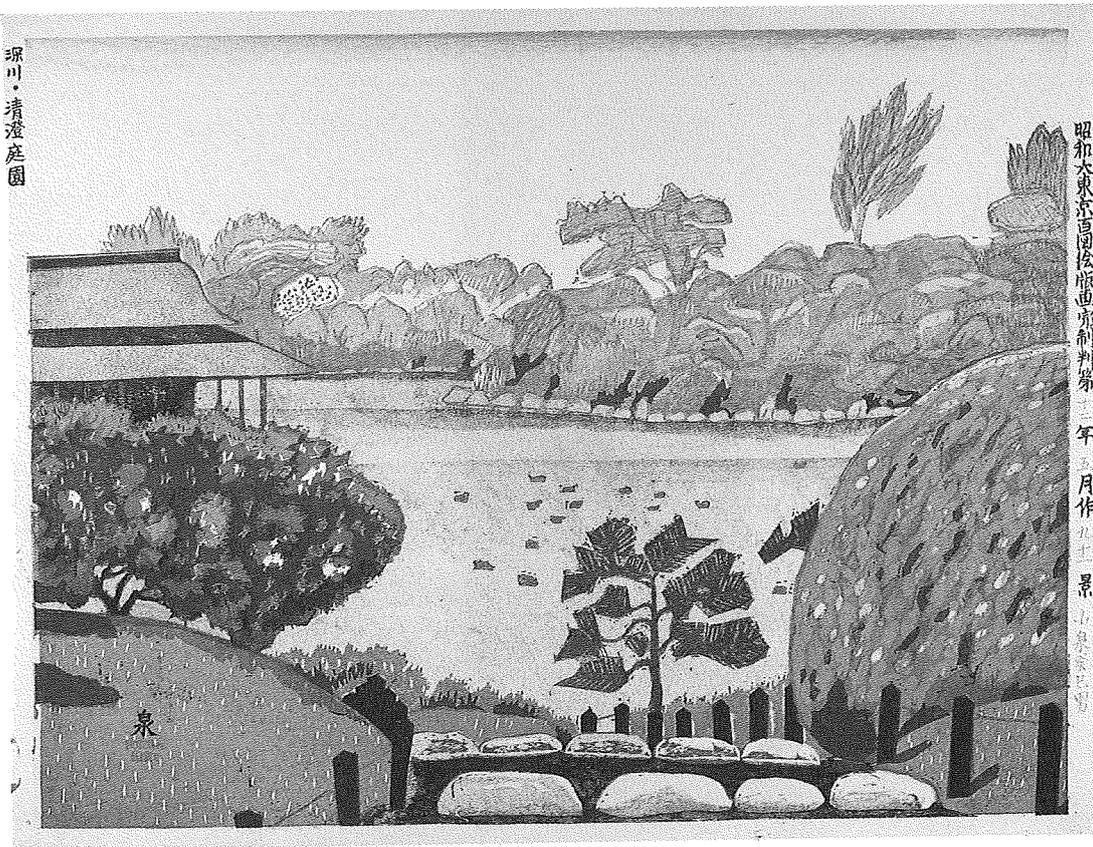


上野風景・表慶館と美術館

昭和東京百図絵版画完制判第十二年四月作九十景

泉

98 昭和東京百図絵版画完制判第十二年四月作九十景 上野風景・表慶館と美術館

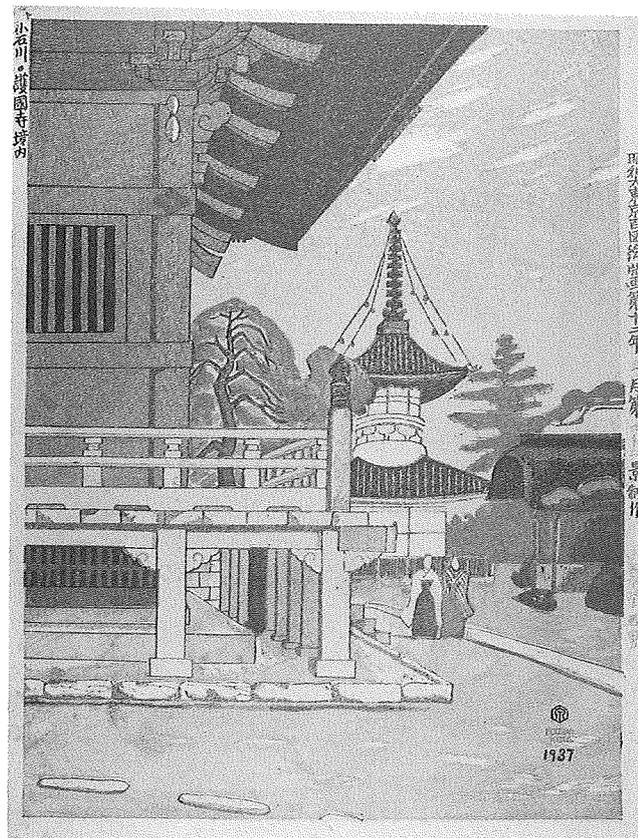


深川・清澄庭園

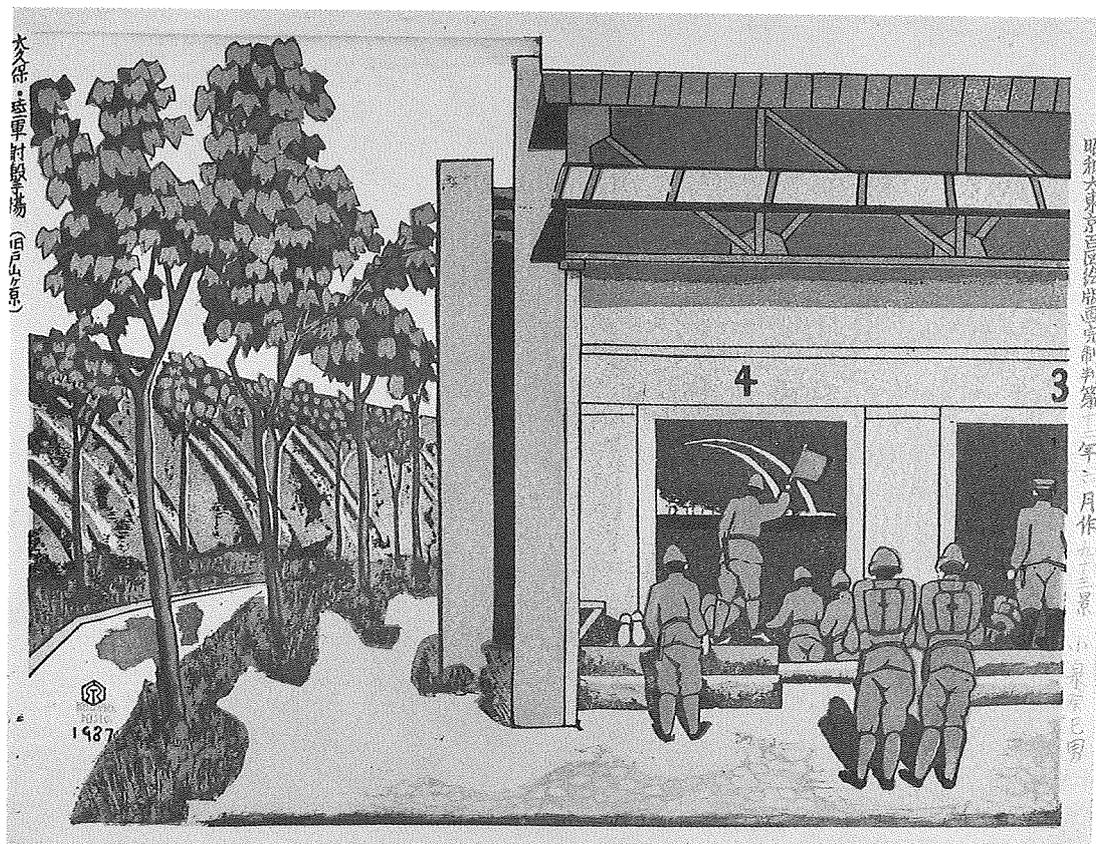
昭和東京百図絵版画完制判第十二年五月作九十一景

泉

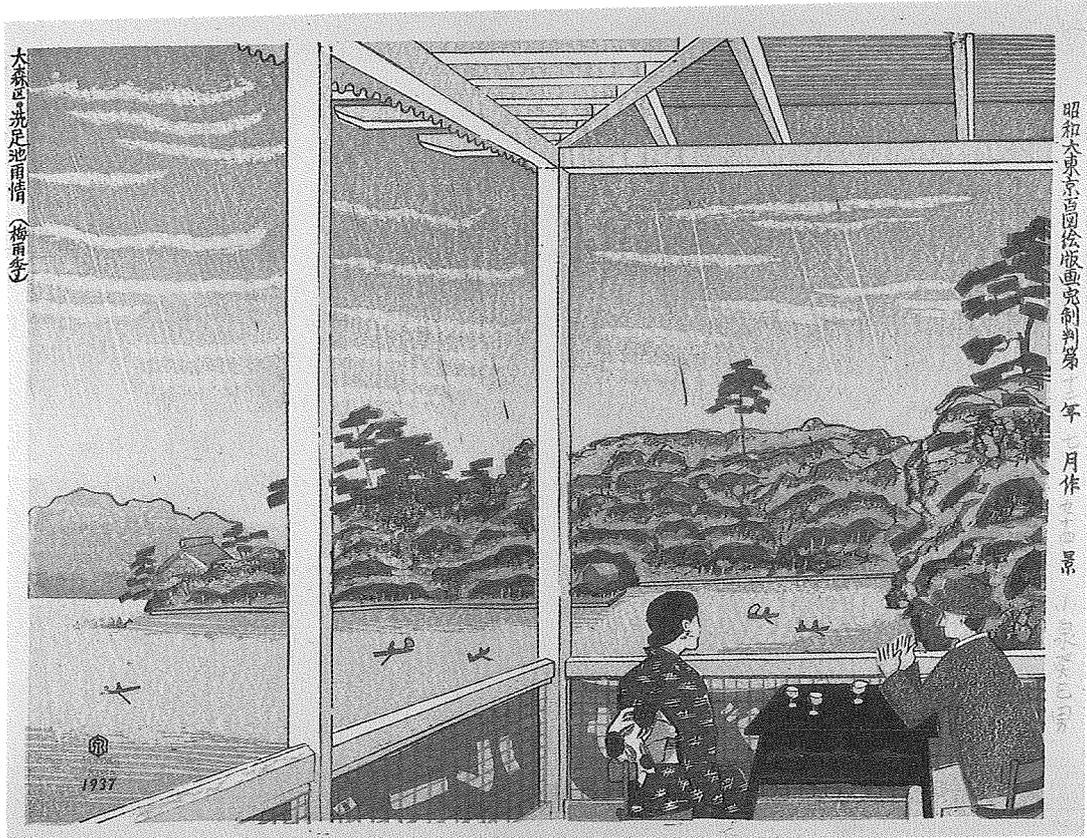
99 昭和東京百図絵版画完制判第十二年五月作九十一景 深川・清澄庭園



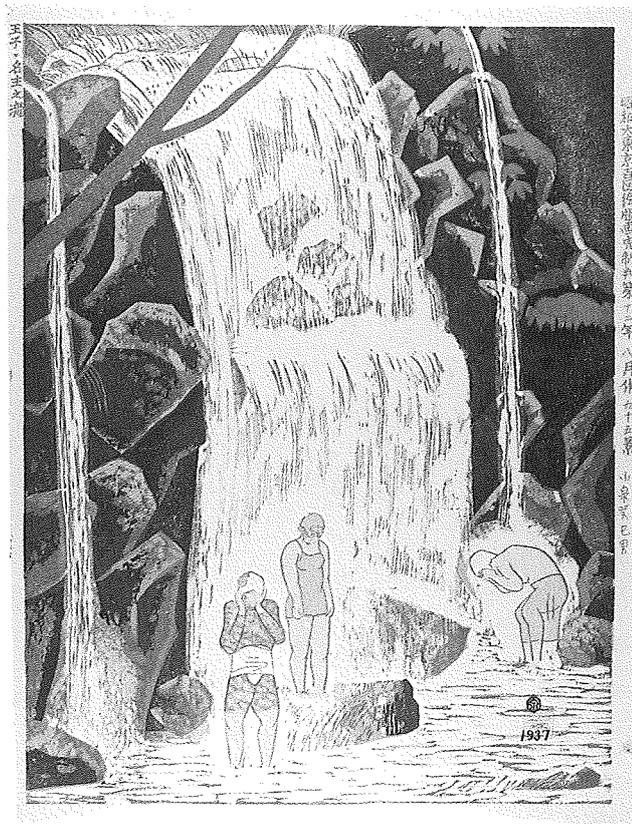
100-2 昭和大東京百図絵版画第十二年五月第九十二景制作  
小石川・護国寺境内



101 昭和大東京百図絵版画完判第十二年六月作九十三景 大久保・陸軍射撃場 (旧戸山ヶ原)



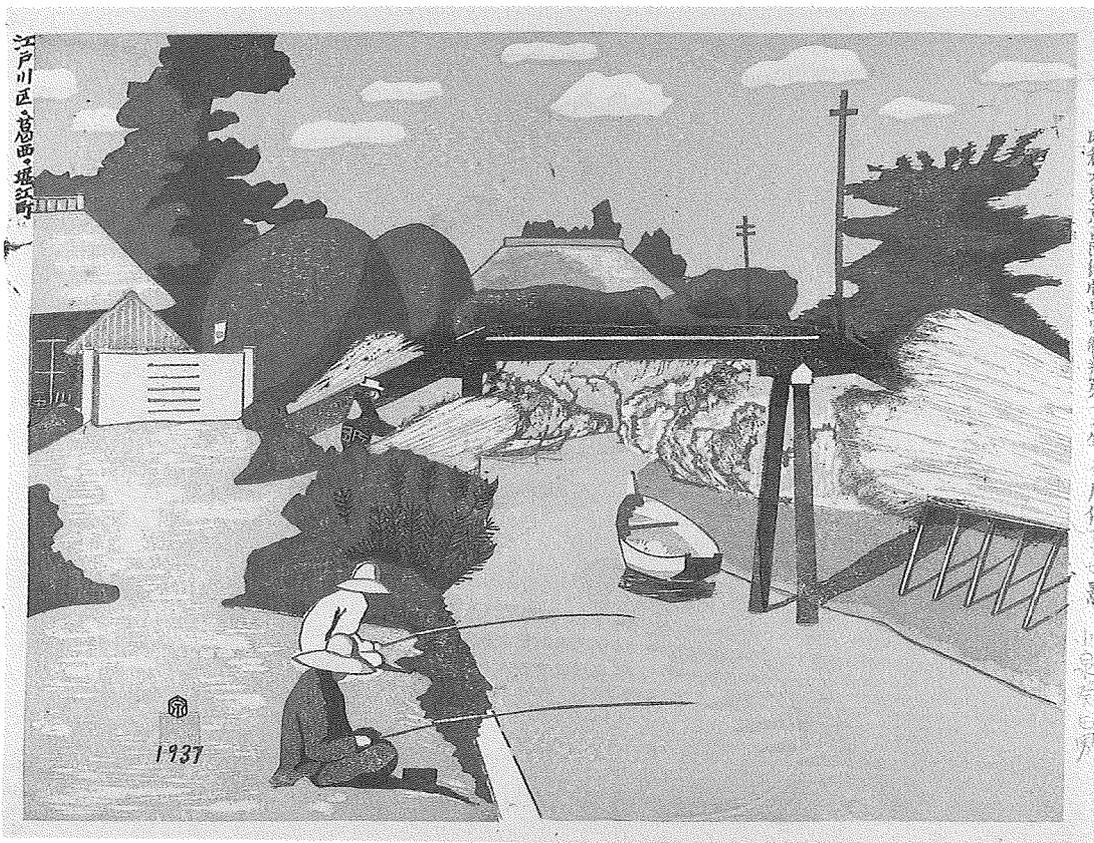
102 昭和東京百図絵版画完制判第十二年七月作九十四景 大森区・洗足池雨情 (梅雨季)



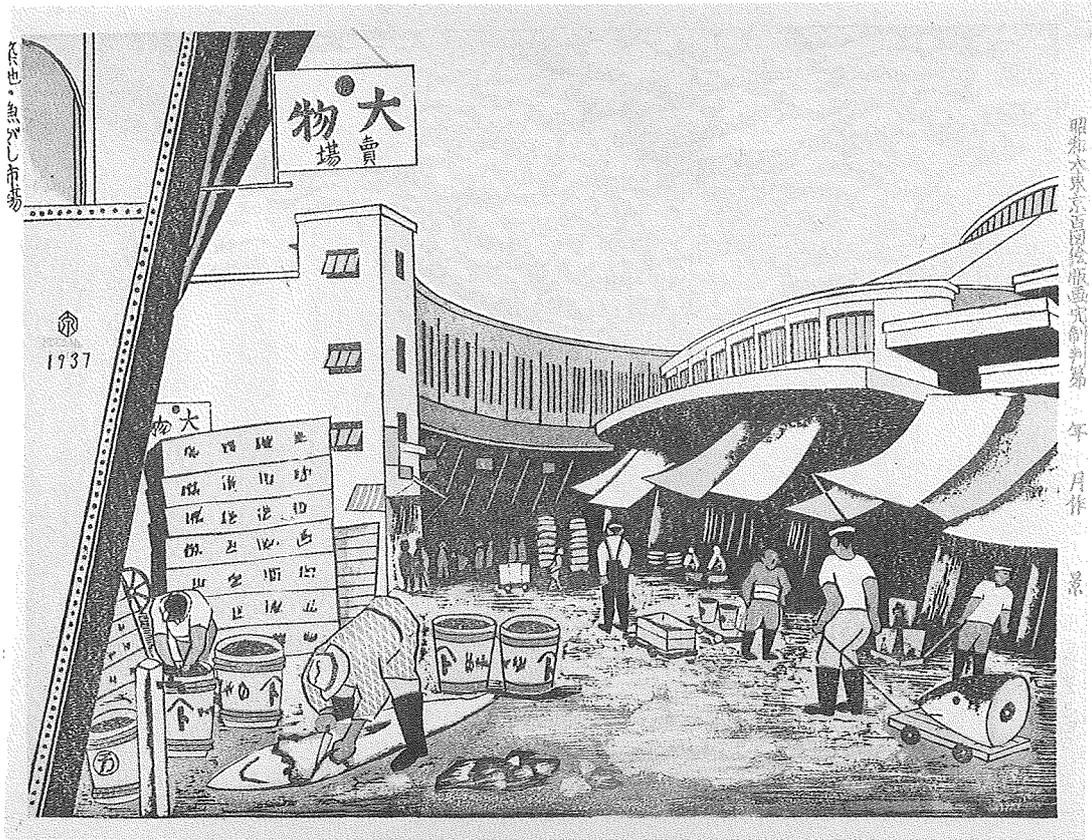
103-2 昭和東京百図絵版画完制判第十二年八月作九十五景 王子・名主之瀧



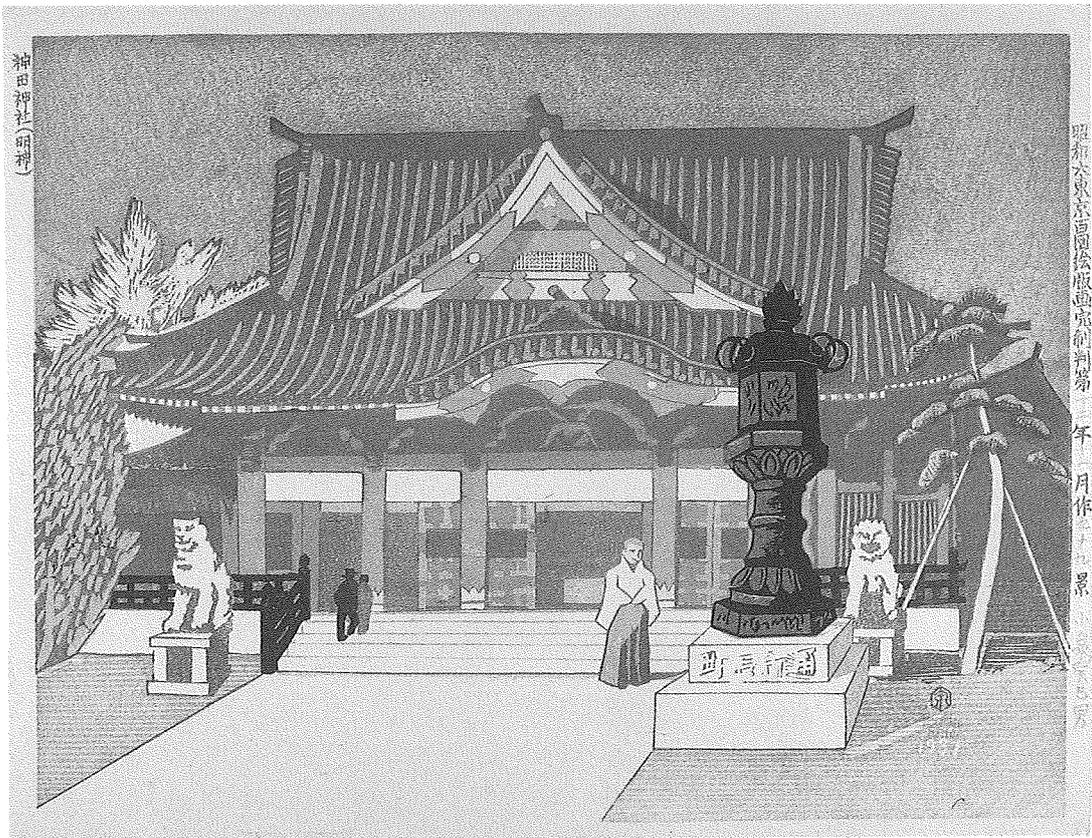
104 昭和大東京百図絵版画完制判第十二年八月作九十六景 千住・末廣町風景



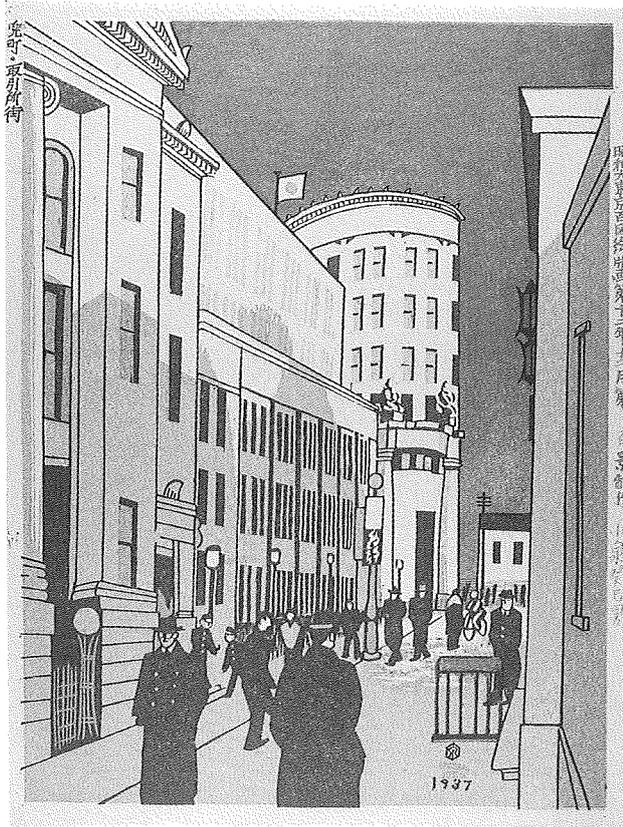
105-2 昭和大東京百図絵版画完制判第十二年九月作九十七景 江戸川区・葛西・堀江町



106-2 昭和六東京百図絵版画完制判第十二年十月作九十八景 築地・魚がし市場



107 昭和六東京百図絵版画完制判第十二年十一月作 九十九景 神田神社(明神)



108 昭和大東京百図絵版画完制第十二号十二月作百景  
兜町・取引所街



113 箱書き

画題	詞	作年月	画題	詞	作年月
昭和と清洲橋	清洲橋の夕景	作三九	麻布三聯隊	麻布三聯隊	作七五
春雨の池之端	春雨の池之端	作四四	戸越銀座駅	戸越銀座駅	作七九
三井と三越	三井と三越	作四四	五月の亀戸天神	五月の亀戸天神	作七九
千住タシク街	千住タシク街	作四四	柳橋夜雨	柳橋夜雨	作七九
躰躰の日は公園	躰躰の日は公園	作五二	聖橋	聖橋	作七九
芝浦ハネ上ヶ橋	芝浦ハネ上ヶ橋	作五二	愛宕山放送局	愛宕山放送局	作七九
芝浜恩賜公園	芝浜恩賜公園	作五二	沈守橋荷	沈守橋荷	作七九
早稲田染工場	早稲田染工場	作五二	震災記念堂	震災記念堂	作七九
暁雪神宮橋	暁雪神宮橋	作五二	百花園	百花園	作七九
二王門より仲見世	二王門より仲見世	作五二	市政會館	市政會館	作七九
梅花の芝公園	梅花の芝公園	作五二	浅草西の市	浅草西の市	作七九
春の銀座夜景	春の銀座夜景	作五二	池の川秋色	池の川秋色	作七九
辨慶橋の春雨	辨慶橋の春雨	作五二	柴又帝釋天	柴又帝釋天	作七九
浜町公園春雪	浜町公園春雪	作五二	深川慶心處理工場	深川慶心處理工場	作七九
關口大瀧	關口大瀧	作五二	石神井三密寺池畔	石神井三密寺池畔	作七九
神田青物市場	神田青物市場	作五二	中央氣象台	中央氣象台	作七九
上野公園山下口	上野公園山下口	作五二	豪徳寺	豪徳寺	作七九
旧青山御所	旧青山御所	作五二	鬼子母神並木	鬼子母神並木	作七九
靖国神社秋祭	靖国神社秋祭	作五二	祝祭日の日本橋	祝祭日の日本橋	作七九
築地かちどき疫	築地かちどき疫	作五二	新議堂	新議堂	作七九
正月の二重橋	正月の二重橋	作五二	歌舞伎座夜景	歌舞伎座夜景	作七九
江戸橋と其附近	江戸橋と其附近	作五二	約橋と汽船渡舟	約橋と汽船渡舟	作七九
雪の泉岳寺	雪の泉岳寺	作五二	春の動物園	春の動物園	作七九
日枝神社石玉様	日枝神社石玉様	作五二	飛鳥山の花見	飛鳥山の花見	作七九
隅田公園吉間	隅田公園吉間	作五二	新吉原竹之町夜桜	新吉原竹之町夜桜	作七九

109 昭和東京百園繪版画制作目録 一

画題	詞	作年月	画題	詞	作年月
植物園の庭	植物園の庭	作五二	東京市役所残雪	東京市役所残雪	作五二
離宮(東宮御所)	離宮(東宮御所)	作五二	平川門の春雨	平川門の春雨	作五二
堀切の菖蒲	堀切の菖蒲	作五二	谷中天王寺塔桜	谷中天王寺塔桜	作五二
砂町風景	砂町風景	作五二	杉並善福寺の池	杉並善福寺の池	作五二
井上哲學堂	井上哲學堂	作五二	諏訪神社の見晴	諏訪神社の見晴	作五二
早稲田大学街	早稲田大学街	作五二	根津権現の驟雨	根津権現の驟雨	作五二
半蔵門の秋色	半蔵門の秋色	作五二	駒澤大学リンクス	駒澤大学リンクス	作五二
日比谷菊花大會	日比谷菊花大會	作五二	帝國ホテル玄關	帝國ホテル玄關	作五二
春場竹の園枝館	春場竹の園枝館	作五二	東京駅と中央郵便局	東京駅と中央郵便局	作五二
数寄屋橋の河畔	数寄屋橋の河畔	作五二	帝國大学赤門の聖	帝國大学赤門の聖	作五二
新宿街	新宿街	作五二	大森海岸乾し	大森海岸乾し	作五二
有栖川宮紀念公園	有栖川宮紀念公園	作五二	羽田國際飛行場	羽田國際飛行場	作五二
四谷見附の躰躰	四谷見附の躰躰	作五二	春の地下鉄	春の地下鉄	作五二
善養寺星降り松	善養寺星降り松	作五二	築地本願寺の櫻	築地本願寺の櫻	作五二
本場河筋の雪	本場河筋の雪	作五二	博覧館美術館春色	博覧館美術館春色	作五二
兩國の川開き	兩國の川開き	作五二	深川清澄庭園	深川清澄庭園	作五二
品川砲台江戸の雪	品川砲台江戸の雪	作五二	陸軍射撃場會堂	陸軍射撃場會堂	作五二
放水路開門	放水路開門	作五二	洗足池雨情	洗足池雨情	作五二
目黒不動堂	目黒不動堂	作五二	王子名主之瀧	王子名主之瀧	作五二
金刀比羅神社	金刀比羅神社	作五二	千住末廣町	千住末廣町	作五二
鈴ヶ森刑場跡	鈴ヶ森刑場跡	作五二	葛西堀江町	葛西堀江町	作五二
神宮繪画館	神宮繪画館	作五二	築地魚がし市場	築地魚がし市場	作五二
練馬風景	練馬風景	作五二	神田明神	神田明神	作五二
深川八幡羽子帯	深川八幡羽子帯	作五二	兜町取引所	兜町取引所	作五二
櫻田門の吹雪	櫻田門の吹雪	作五二			

110 昭和東京百園繪版画制作目録 二

私の昭和東京百図絵版画は彫版も摺版ともに  
 自分独りの手で作る創作版画であります。  
 昔廣重が世界的有名なる江戸百景を作った  
 のはもう百余年前のことでありましてそれより星  
 移り物換り江戸は東京と改まり風物自然  
 異なつて来ましたので、私は僭越ながら昭和の廣  
 重を氣取つて一生涯の仕事として昭和東京風景  
 版画百景を作る偉業の夢を思ひ立ちつたが、昭  
 和五年の秋であります、途中どこか経済的に陣  
 没しそうになつても兎も再初版から十年の間黙々と  
 精進して遂に其の完成を見ましたことは私の版画  
 道に對する愛と努力の結晶であります。  
 私の版画には原画は無く刀を筆に代へた版と版  
 の綜合で摺り上がったものであります、だから出来上  
 りに同一でかゝるものもある故に一枚づつ鉛筆で署名して  
 居ります。日本が版画國などとは昔の夢に過ぎない  
 現在は汝の園であります、版藝術の花園の再現  
 を祈り私のこの小作東京風景版画がその前奏  
 曲となり又大東京の紹介ともなれば誠に幸甚の  
 至りと思ひます。

白皇紀三千六百廿年秋  
 小泉癸巳男記

111 自序

小泉癸巳男君が昭和東京風景の版画  
 百図の發布を望み、立つて数年の間  
 一たか、これが生活の夜更に打ちたつて居る  
 一う、あまり強健と見えぬ、其の  
 短を以てしてよく、此大業を完成した  
 ものである。

其処には無常出来不出来もある、  
 風うつろい、一歩いりや、遠近の狂つて居  
 るや、悪景人物に働かり足り居るのや、  
 種種々々批評を被るべきものがある、  
 けれど、其出来ぬいともうに存して、昭和  
 東京を後代に傳へることを、彼帝  
 青も、廣重が明治と法親が傳へて居  
 るや、地味いものがある、東京の街景  
 時刻々に其外容を更めつ、あつたが、  
 小泉君の版画に取組はれ、そのようも  
 動く、く、おは消失し、おは又現し、  
 いつか回顧の料となる、と、おは、  
 昔、東京の、町を、おは、  
 此東京風景の、百図、を、おは、

昭和十三年六月  
 石井柏亭

112 推薦文 (石井柏亭)